

**令和4年度
仙台市下水道サービスに対する
市民満足度調査
報告書**

令和4年12月

仙台市建設局 経営企画課

目 次

1. 調査概要	-----	1
2. 回答者の属性	-----	3
3. 調査結果	-----	4
問 1	「仙台市下水道の状況や取組みへの関心度」 -----	4
問 2	「仙台市下水道の取組みの優先度」 -----	6
問 3	「大雨による浸水で困った経験の有無」 -----	8
問 4	「浸水被害を軽減する支援策の認知度」 -----	10
問 5	「浸水被害を軽減する取組みの優先度」 -----	14
問 6	「下水道使用料の妥当性」 -----	16
問 6 - 2	「下水道使用料が高いと感じる理由」 -----	18
問 7	「下水道使用料のあり方に関する考え」 -----	19
問 8	「仙台市下水道からの知りたい情報」 -----	20
問 9	「希望する仙台市下水道の情報発信方法」 -----	23
問 10	「仙台市下水道の P R 活動の認知度」 -----	25
問 11	「感染症研究に関する取組みの認知度」 -----	27
問 12	「感染症研究に関する取組みに対する考え」 -----	29
問 13	「仙台市下水道全般への満足度」 -----	30

1. 調査概要

(1) 調査の目的

本市下水道サービスに対する市民の関心度や満足度を調査し、その結果をサービスの改善や広報・広聴活動の充実などに生かすことにより、下水道事業に対する市民からの信頼及び満足度の向上を図るとともに、今後の下水道事業の方向性等を検討する際の参考とする。

(2) 調査対象者

- ・仙台市内に居住している18歳以上の男女 3,000人
- ・無作為抽出による

(3) 回収状況

- ・回収率 48.7% (1,461票)

回収率の内訳① (年齢別)

年齢別	回答者数 (①)	アンケート 配布数(②)	回収率 (=①/②×100)
29歳以下	128	457	28.0%
30歳代	148	445	33.3%
40歳代	248	562	44.1%
50歳代	257	483	53.2%
60歳代	264	390	67.7%
70歳以上	405	663	61.1%
無回答	11	—	—
計	1,461	3,000	48.7%

回収率の内訳② (居住区別)

居住区別	回答者数 (①)	アンケート 配布数(②)	回収率 (=①/②×100)
青葉区	413	853	48.4%
宮城野区	257	537	47.9%
若林区	179	387	46.3%
太白区	299	646	46.3%
泉区	301	577	52.2%
無回答	12	—	—
計	1,461	3,000	48.7%

(4) 調査方法

- ・無記名式の質問用紙によるアンケート調査 (郵送)

(5) 調査項目

- ・下水道の取組みに関する項目：11 問
- ・下水道の広報に関する項目：3 問
- ・回答者の属性に関する項目：2 問
- ・合計 16 問

(6) 調査実施期間

- ・令和 4 年 7 月 4 日（月）から 7 月 29 日（金）まで

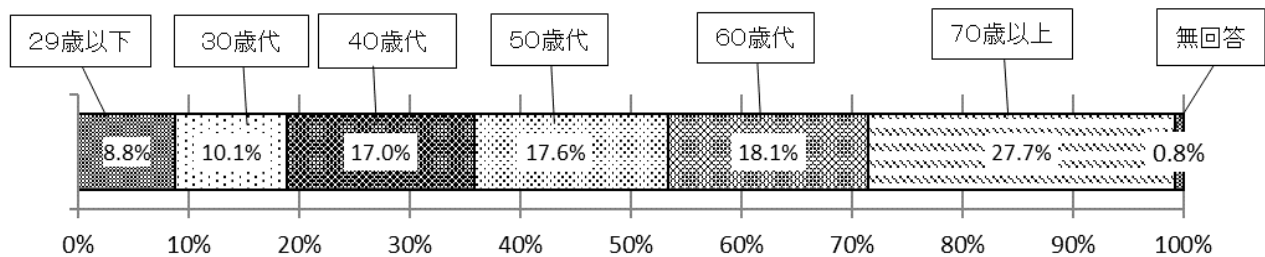
(7) 報告書の見方

- ・報告書中の「n」とは、その設問項目の回答数である。
- ・報告書中のグラフ等の単位は、「%」と表示していない場合は「人」である。
- ・%値は、小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記しており、その合計が 100.0% にならない場合がある。
- ・回答者が複数の回答をすることができる質問では、回答数の合計は回答者数を超える場合がある。

2. 回答者の属性

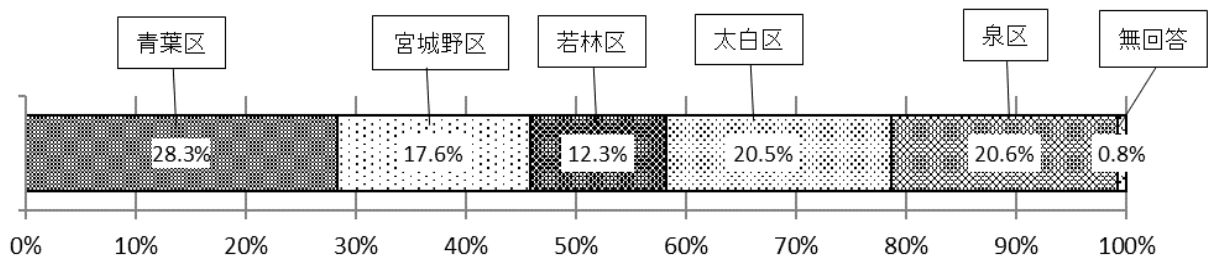
(1) 年齢 (n=1,461)

29歳以下	128人
30歳代	148人
40歳代	248人
50歳代	257人
60歳代	264人
70歳以上	405人
無回答	11人



(2) 居住区 (n=1,461)

青葉区	413人
宮城野区	257人
若林区	179人
太白区	299人
泉区	301人
無回答	12人

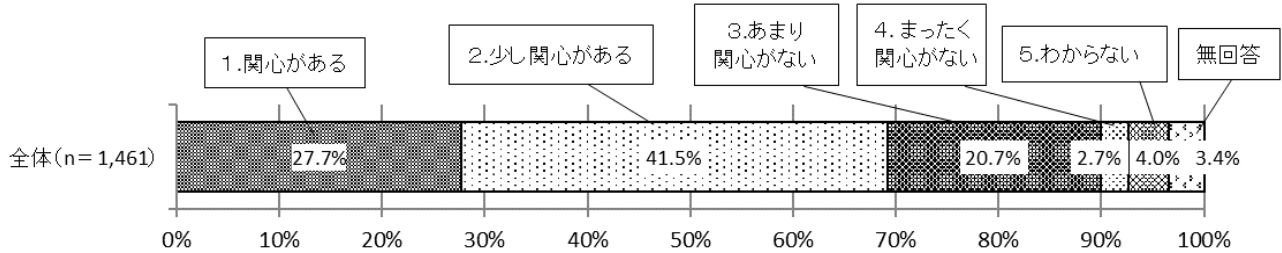


3. 調査結果

問 1

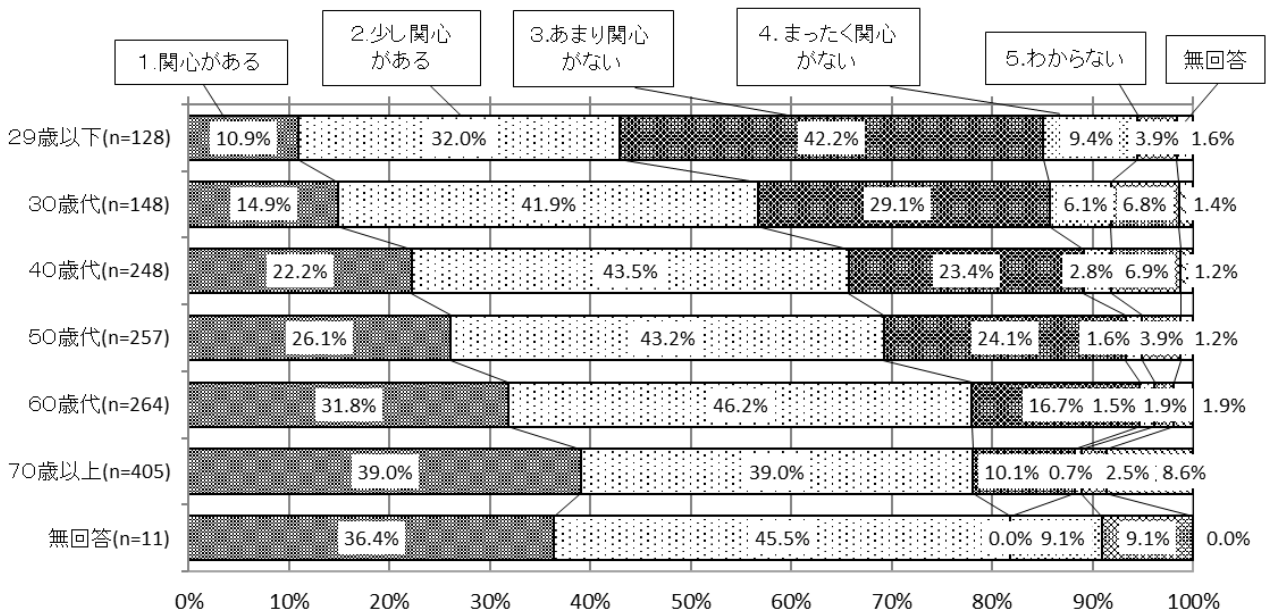
あなたは、仙台市の下水道の状況や取組みに関心をお持ちですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. 少し関心がある | 4. まったく関心がない |
| | 5. わからない |



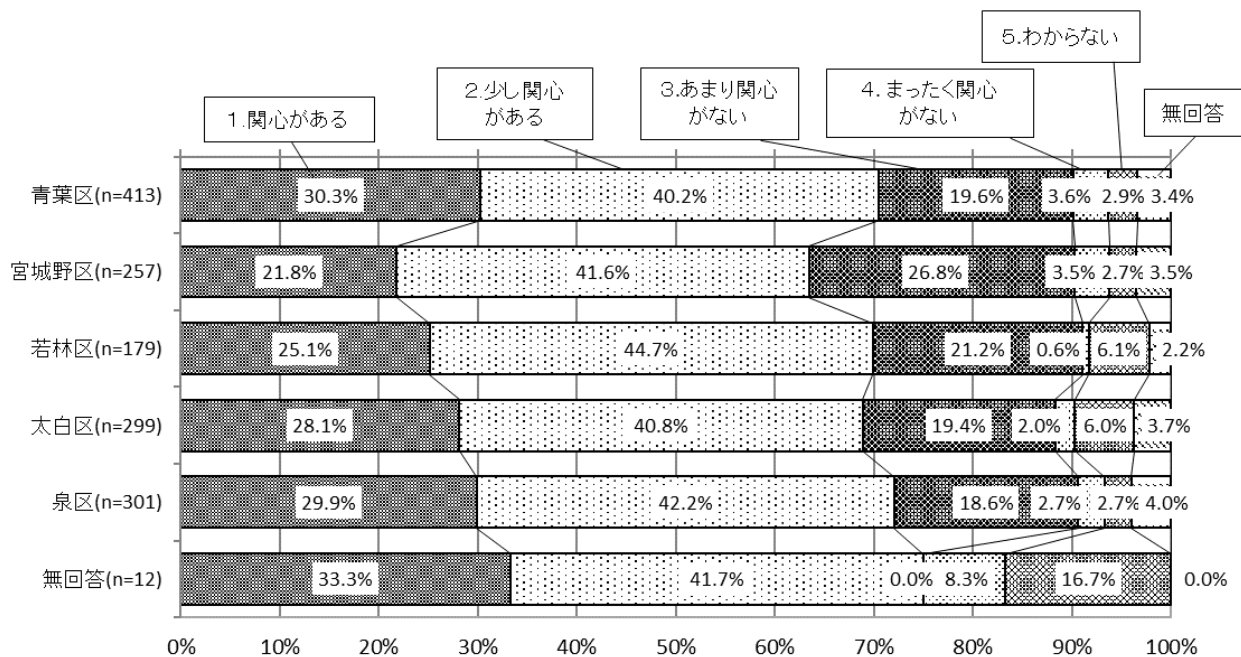
- 「関心がある」「少し関心がある」と回答した割合が69.2%となり、7割近くの方が関心の度合いが高い結果となりました。前回アンケート（令和2年6月実施）の68.9%とほぼ変わらない結果となりました。

<年齢別での集計>



- 年齢別では、年代が高くなるほど、仙台市の下水道の状況や取組みに、「関心がある」「少し関心がある」と回答した割合が大きい結果となりました。

<居住区別での集計>

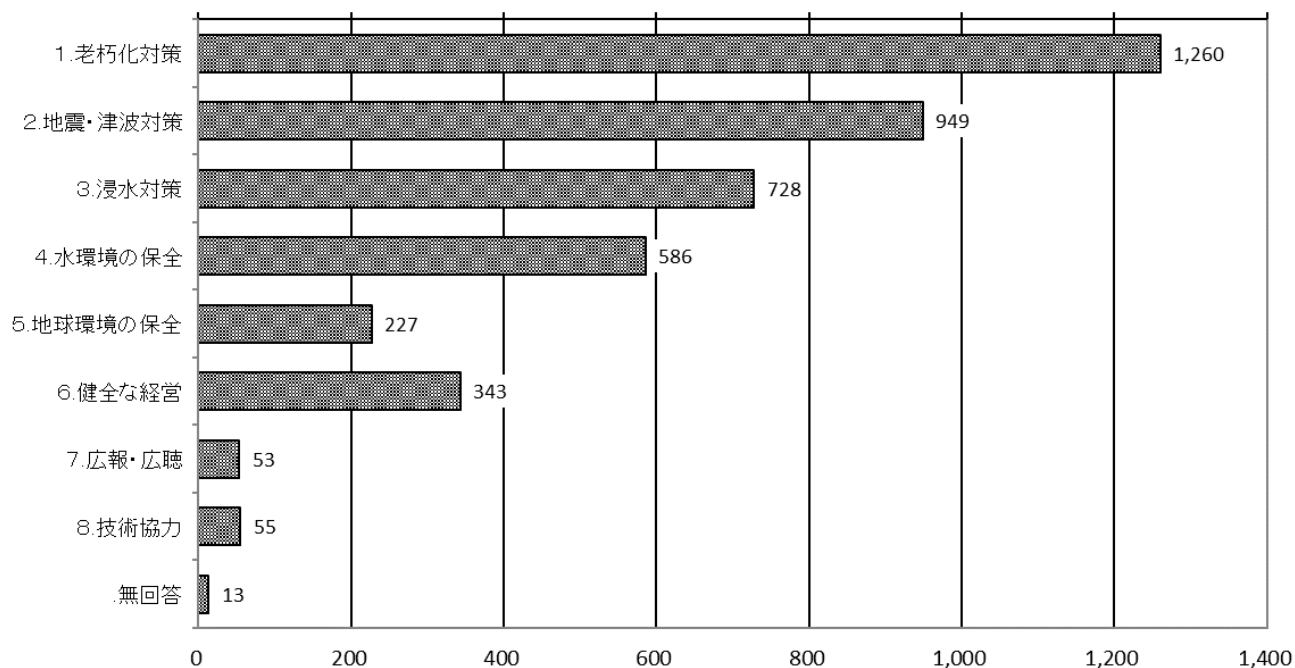


- ▶ 居住区別では、仙台市の下水道の状況や取組みに、「関心がある」「少し関心がある」と回答した割合が、青葉区、若林区、太白区、泉区は7割程度である一方、宮城野区は6割程度という結果となりました。

問 2

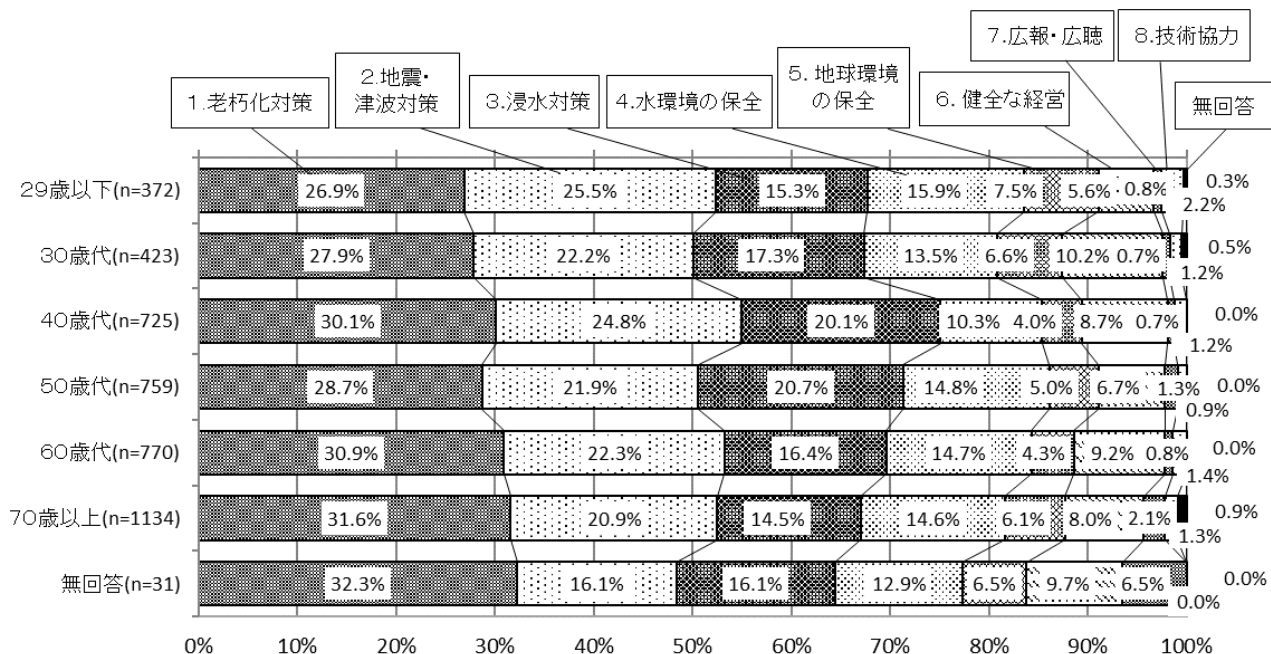
仙台市の下水道では、下の表に示す取組みを実施しています。あなたは、どの取組みを優先的に実施すべきと考えますか。（あてはまる番号3つまでに○）

主な取組み	取組内容
老朽化対策	古くなった下水道施設を計画的に修繕・更新する取組み
地震・津波対策	地震・津波に強い下水道施設に改良する取組み
浸水対策	雨による浸水被害を軽減する取組み
水環境の保全	下水を処理し、川や海の水質と景観を守る取組み
地球環境の保全	地球温暖化の防止と循環型社会の形成に貢献する取組み
健全な経営	業務改善などにより、安定的で効率的な経営を目指す取組み
広報・広聴	下水道情報をお知らせし、皆さまの声をサービスに生かす取組み
技術協力	国内外に対し防災・減災などに関する技術支援を行う取組み



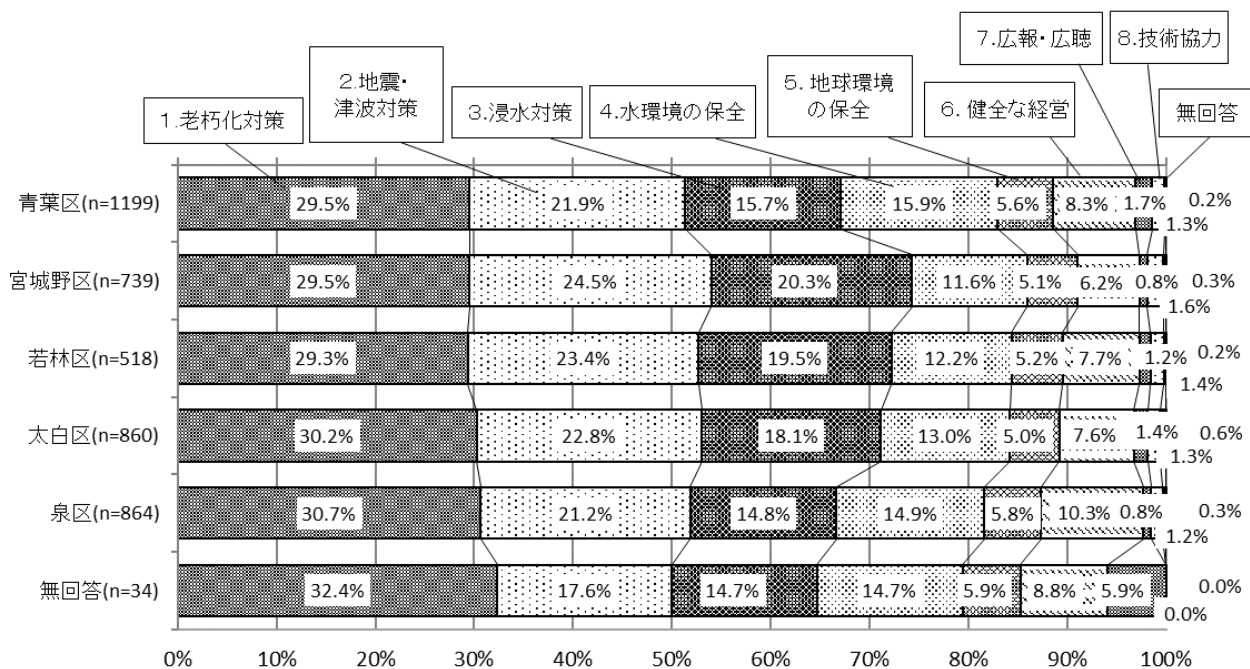
- 「老朽化対策」にもっとも多く、回答が寄せられ、「地震・津波対策」「浸水対策」が次ぐ結果となりました。

<年齢別での集計>



- 年齢別では、すべての年代で「老朽化対策」「地震・津波対策」と回答した割合が大きい結果となりました。
- 40～50歳代で、他の年代と比べて「浸水対策」と回答した割合が大きい結果となりました。

<居住区別での集計>



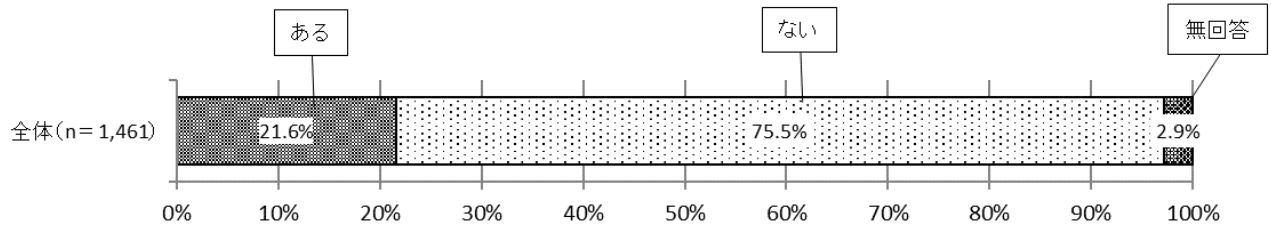
- 居住区別では、すべての区で「老朽化対策」「地震・津波対策」と回答した割合が大きい結果となりました。
- 宮城野区、若林区、太白区で「浸水対策」と回答した割合が大きい結果となりました。

問3

あなたは、大雨による浸水で困ったことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

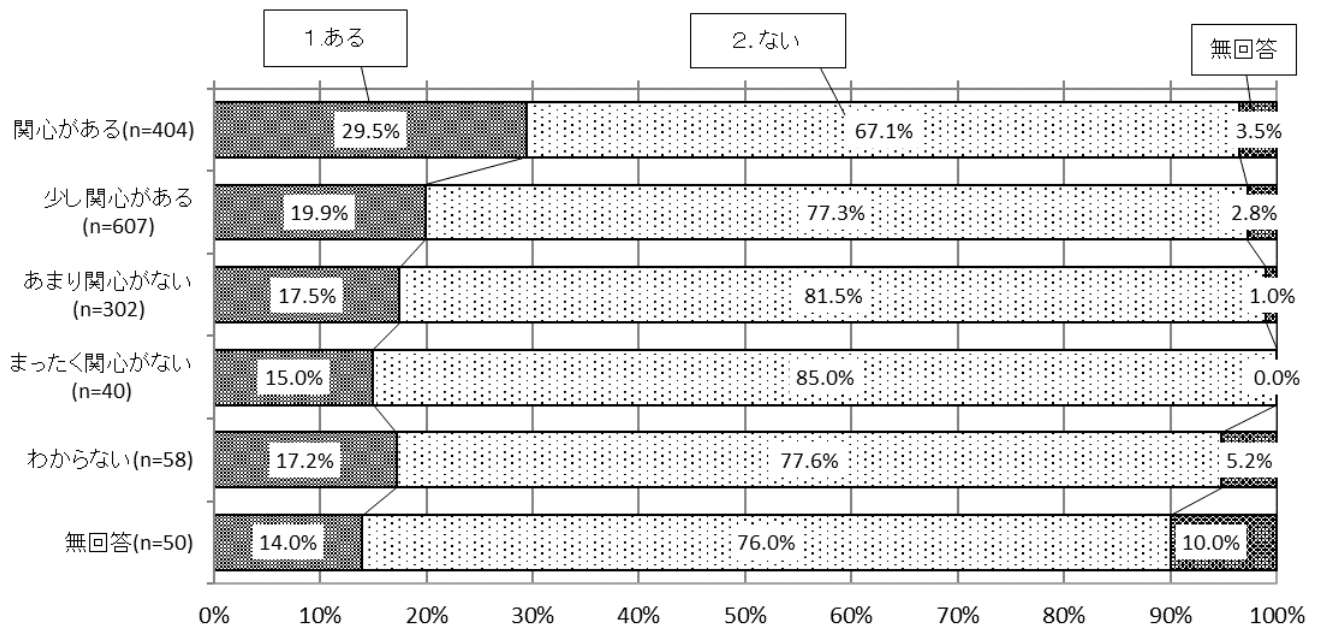
1. ある

2. ない



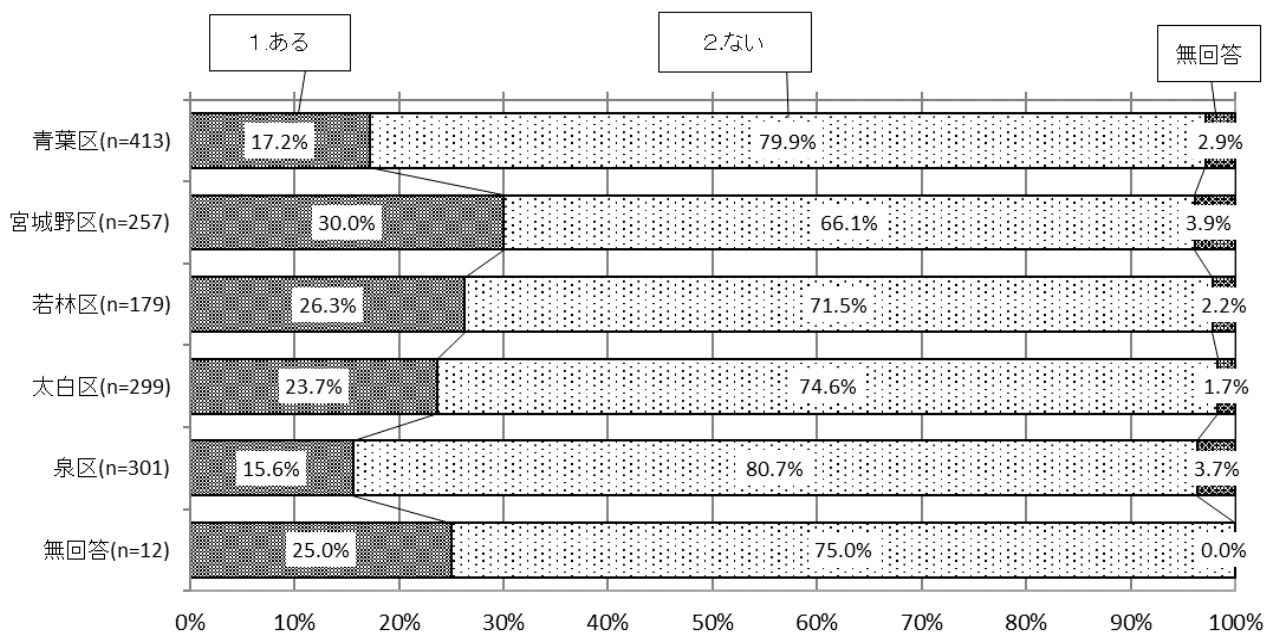
- 大雨による浸水で困ったことが「ある」と回答した割合が21.6%となりました。
- 大雨による浸水で困ったことが「ある」と回答した方は316人で、前回アンケート（令和2年6月実施）の434人から減少しました。

<問1 関心の度合い別での集計>



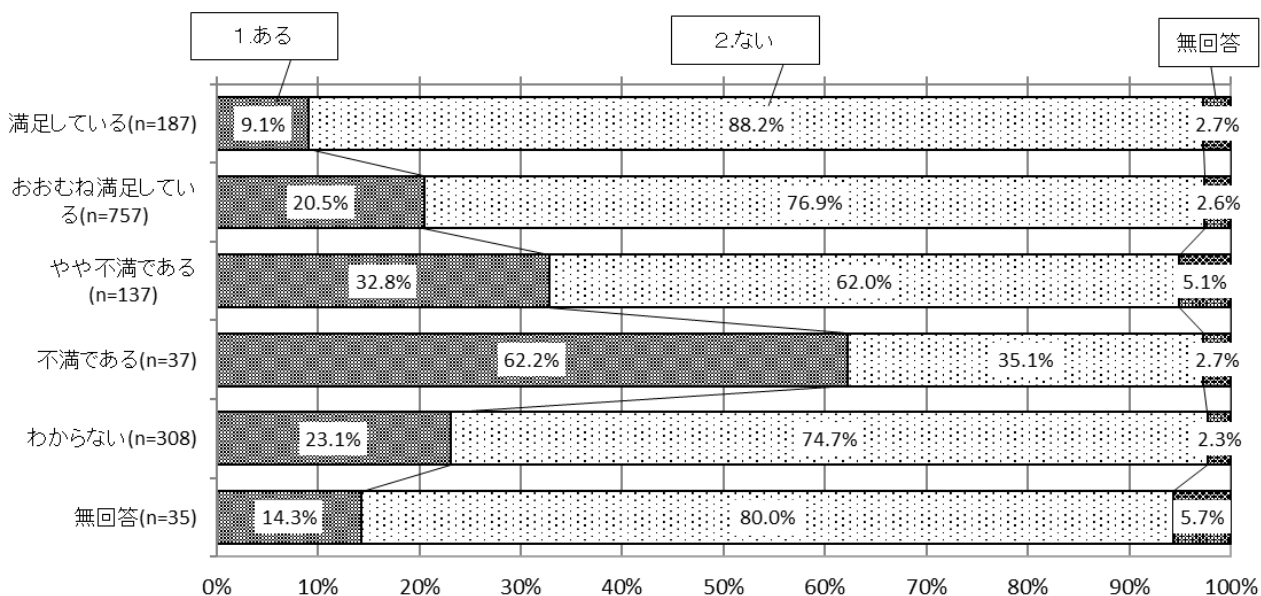
- 関心の度合い別では、関心の度合いが高くなるほど、大雨による浸水で困ったことが「ある」と回答した割合が大きい傾向となりました。

<居住区別での集計>



- 居住区別では、宮城野区、若林区、太白区で、大雨による浸水で困ったことが「ある」と回答した割合が大きい結果となりました。
- 宮城野区、若林区で「ある」と回答した割合は、それぞれ前回アンケートの 36.6%、34.9% から減少しました。

<問 13 満足の度合い別での集計>



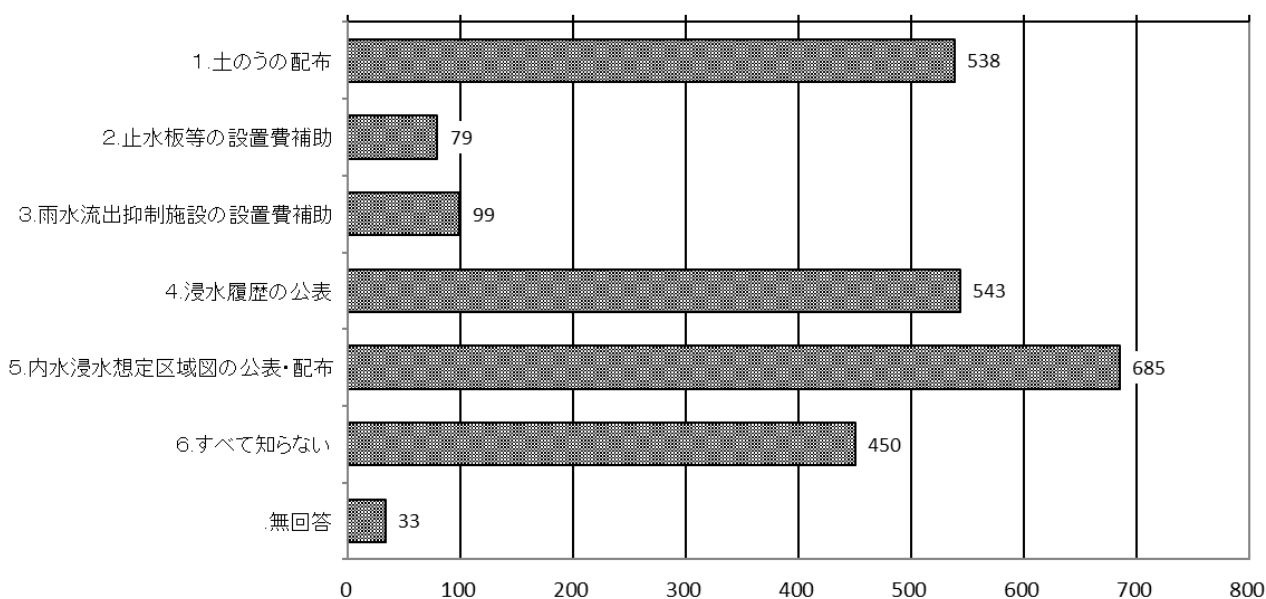
- 満足の度合い別では、不満の度合いが高いほど、大雨による浸水で困ったことが「ある」と回答した割合が高い結果となりました。

問 4

仙台市では、浸水被害を少しでも軽減するため、下の表にある市民の皆さま一人ひとりが取り組むことができる対策を支援しています。

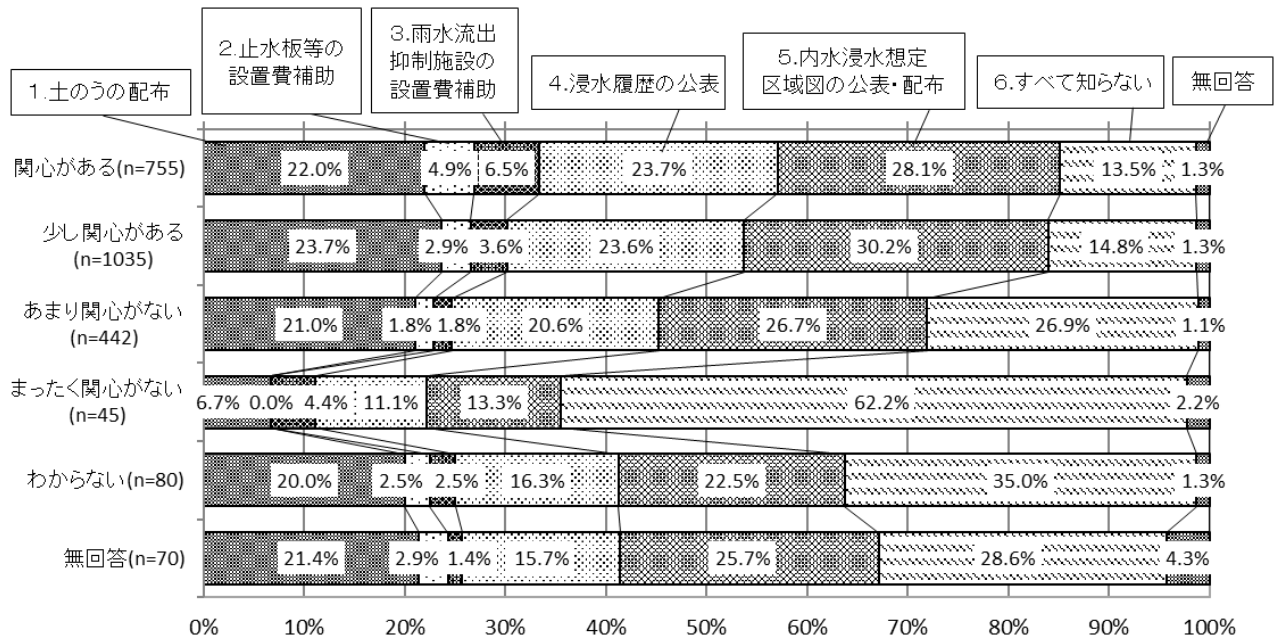
あなたは、これらの支援策をご存知でしたか。(あてはまる番号すべてに○)

番号	支援策	支援内容
1	土のうの配布	区役所などで10袋まで、土のう(土砂入りまたは袋のみ)を配布
2	止水板等の設置費補助	止水板(雨水の浸入を防ぐ板)等の設置費の一部を補助
3	雨水流出抑制施設の設置費補助	雨水の浸透ますや貯留タンクの設置費の一部を補助
4	浸水履歴の公表	過去に浸水があった地区を仙台市ホームページで公表
5	内水浸水想定区域図の公表・配布	浸水が予想される箇所を地図に表示したものを仙台市ホームページで公表・区役所などで配布
6	すべて知らない	—



- 浸水被害軽減支援策の中で最も認知度が高かったものは、「内水浸水想定区域図の公表・配布」となり、「浸水履歴の公表」「土のうの配布」が次ぐ結果となりました。
- 「すべて知らない」と回答した割合は30.8%となり、前回アンケートの26.5%から増加しました。

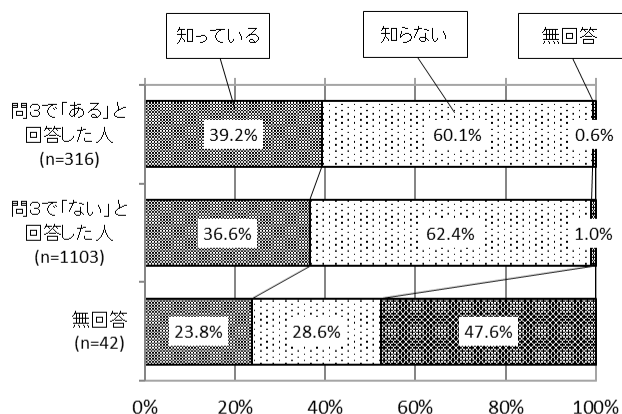
<問1 関心の度合い別での集計>



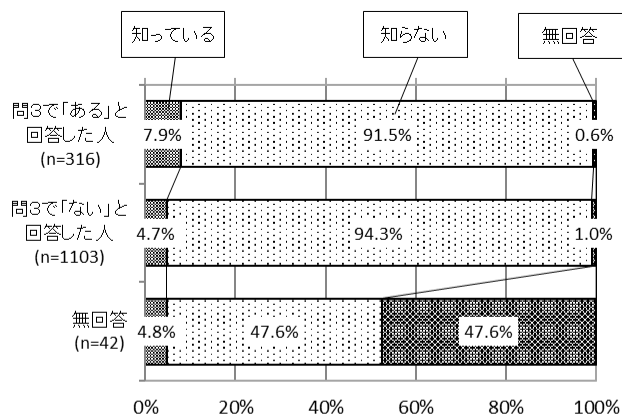
- 関心の度合い別では、関心の度合いが高くなるほど、「浸水履歴の公表」「内水浸水想定区域図の公表・配布」と回答した割合が大きい結果となりました。
- 関心の度合いが低くなるほど、「すべて知らない」と回答した割合が大きい結果となりました。

<問3大雨による浸水で困ったことの有無での集計>

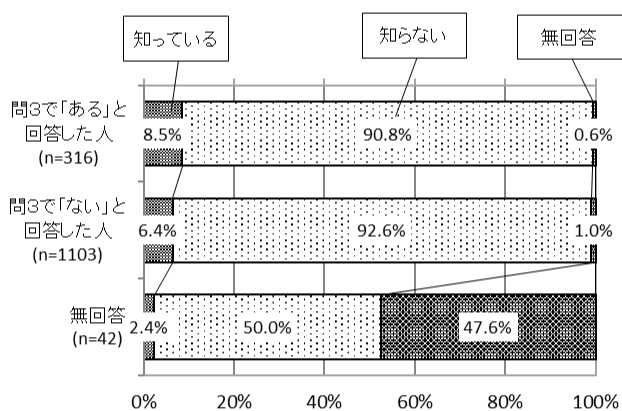
1.土のうの配布



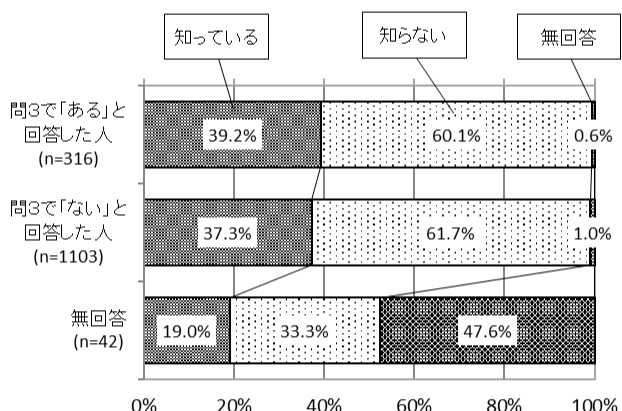
2.止水板等の設置費補助



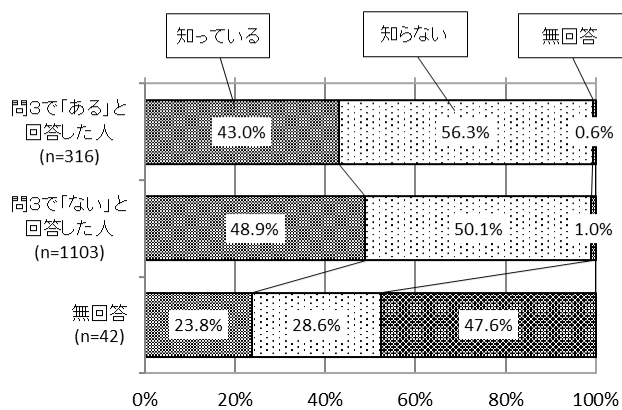
3.雨水流出抑制施設の設置費補助



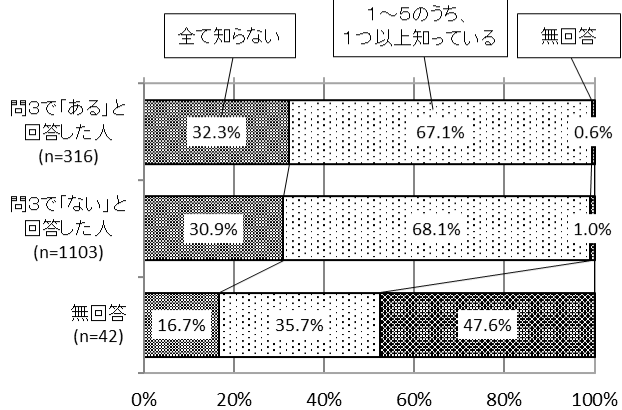
4.浸水履歴の公表



5.内水浸水想定区域図の公表・配布

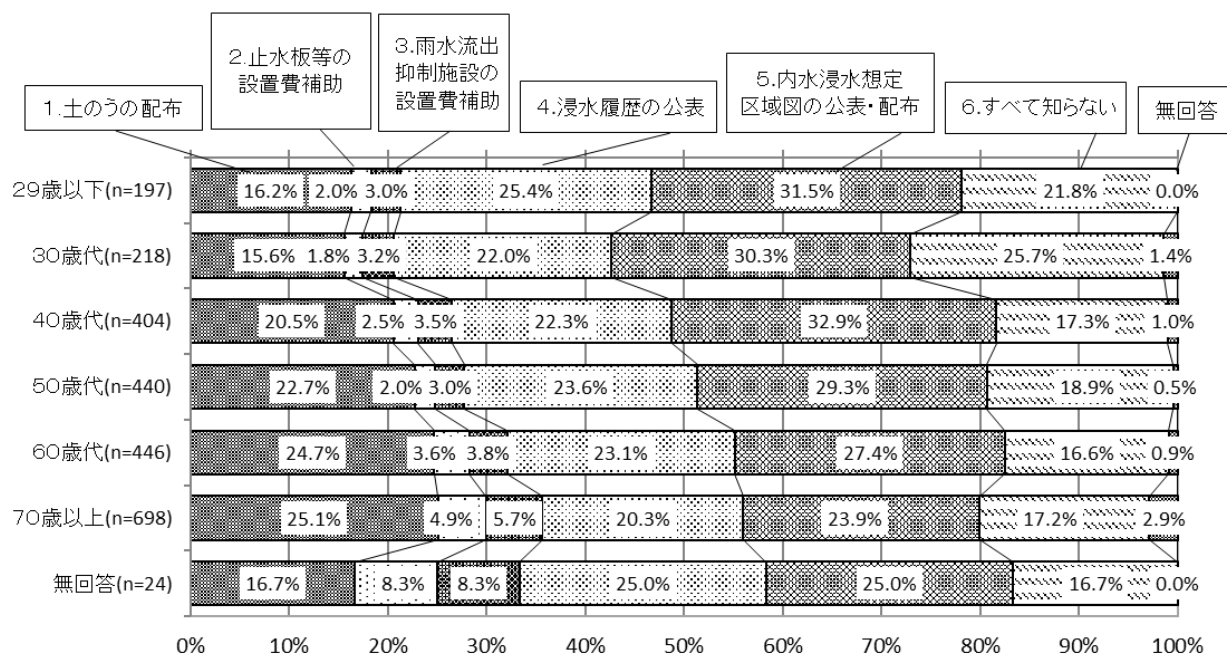


6.すべて知らない



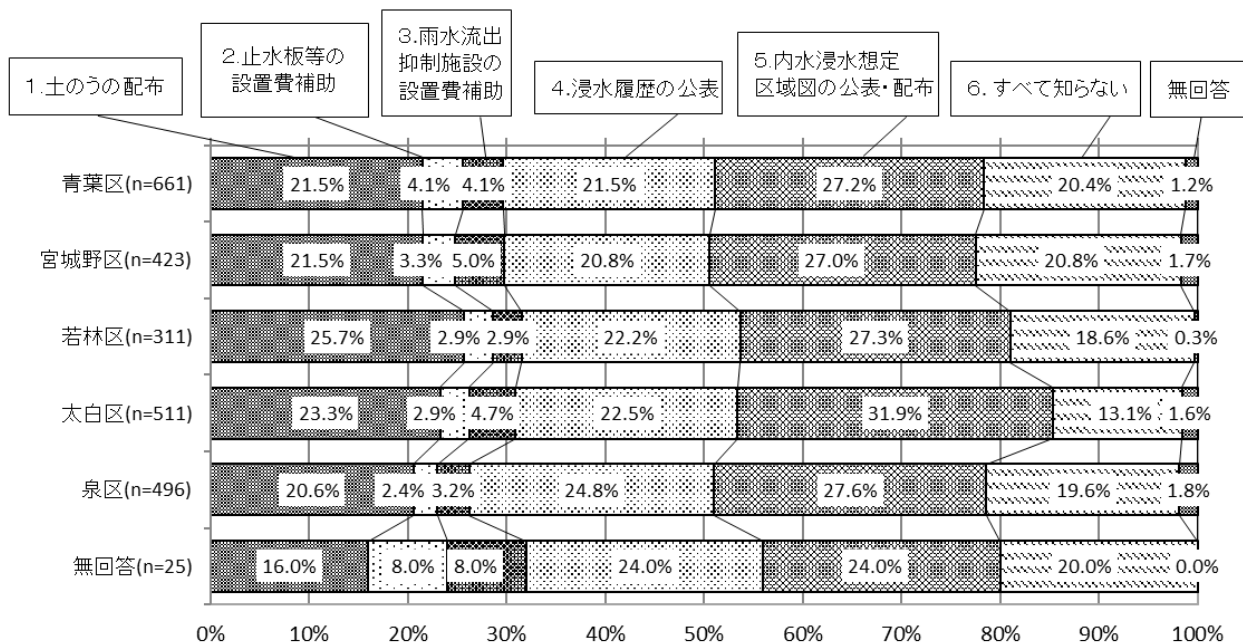
- 大雨による浸水で困ったことがあると回答した方は、ないと回答した方に比べて、「土のうの配布」「止水板等の設置費補助」「雨水流出抑制施設の設置費補助」「浸水履歴の公表」の4つの支援策について、「知っている」と回答した割合が大きい結果となりました。
- 大雨による浸水で困ったことがあると回答した方のうち、「すべて知らない」と回答した割合は32.3%となり、前回アンケートの22.6%から増加しました。

<年齢別での集計>



- 年齢別では、年代が高くなるほど、「土のうの配布」を知っていると回答した割合が大きい一方、「浸水履歴の公表」「内水浸水想定区域図の公表・配布」と回答した割合は小さい結果となりました。
- 30歳代において、「すべて知らない」と回答した割合が大きい結果となりました。

<居住区別での集計>

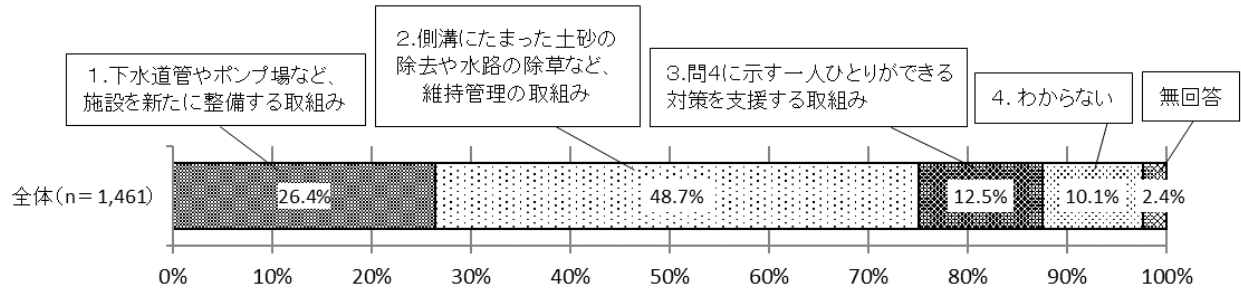


- 居住区別では、太白区以外の4つの区で、「すべて知らない」と回答した割合が2割程度という結果となりました。

問5

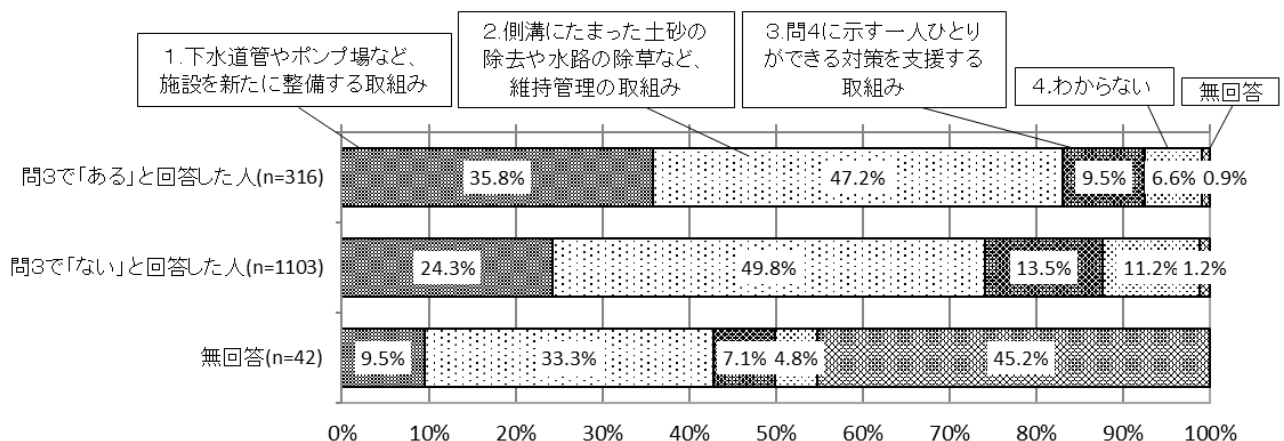
仙台市では、浸水被害を軽減するための取組みを行っています。あなたは、どの取組みを重点的に実施すべきと考えますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 下水道管やポンプ場など、施設を新たに整備する取組み
2. 側溝にたまった土砂の除去や水路の除草など、維持管理の取組み
3. 問4に示す一人ひとりができる対策を支援する取組み
4. わからない



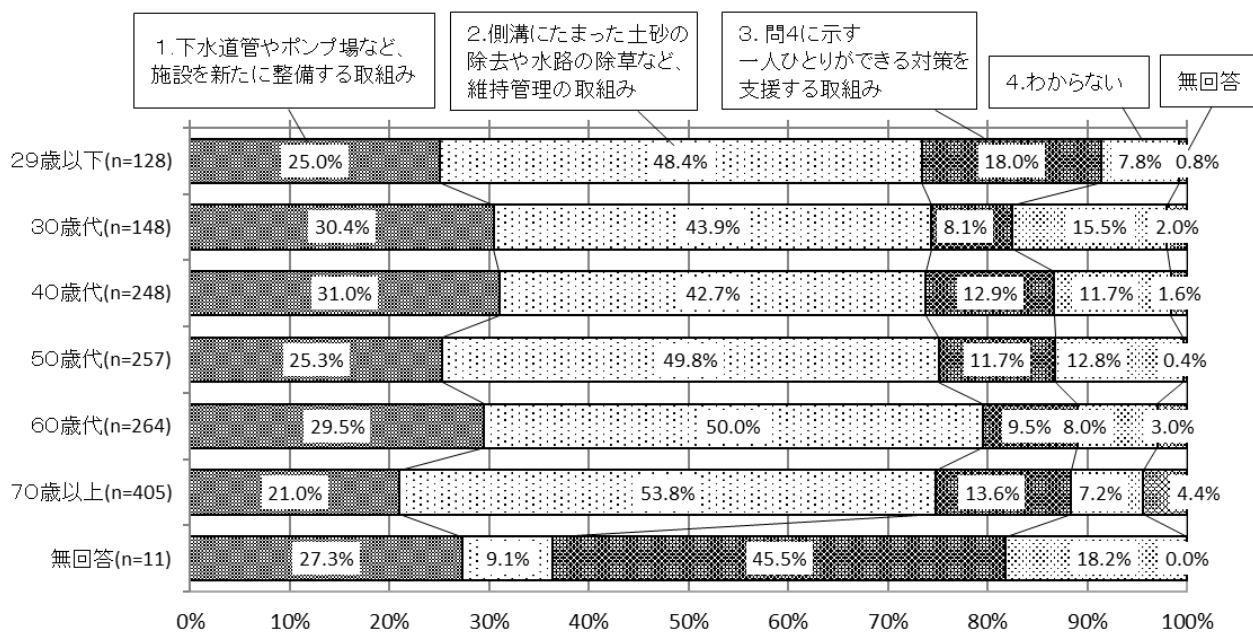
- 浸水被害軽減のために、重点的に実施すべき取組みを「側溝にたまった土砂の除去や水路の除草など、維持管理の取組み」と回答した割合が48.7%となりました。
- 「側溝にたまった土砂の除去や水路の除草など、維持管理の取組み」と回答した割合は前回アンケートの41.3%から48.7%に増加し、「下水道管やポンプ場など、施設を新たに整備する取組み」と回答した割合は29.0%から26.4%に減少しました。

<問3大雨による浸水で困ったことの有無での集計>



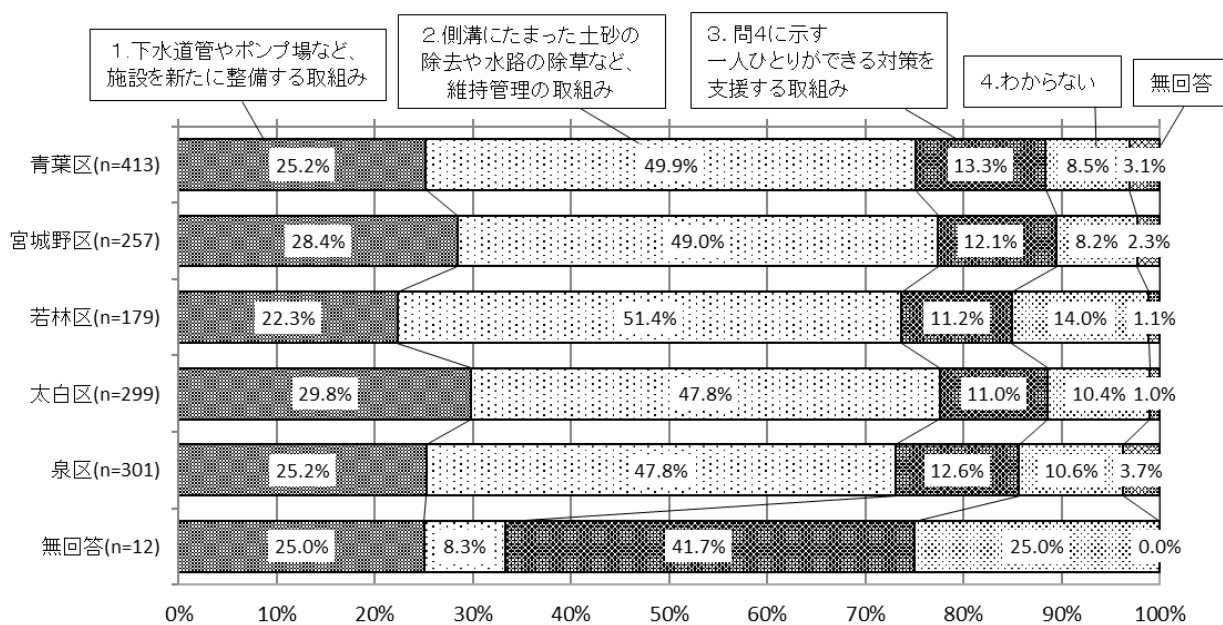
- 大雨による浸水で困ったことが「ある」と回答した方は、「下水道管やポンプ場など、施設を新たに整備する取組み」と回答した割合が大きい結果となりました。

<年齢別での集計>



- 年齢別では、29歳以下で、「一人ひとりができる対策を支援する取組み」と回答した割合が他の年代と比べて高い結果となりました。
- 30～50歳代で、「わからない」と回答した割合が大きい傾向となりました。

<居住区別での集計>

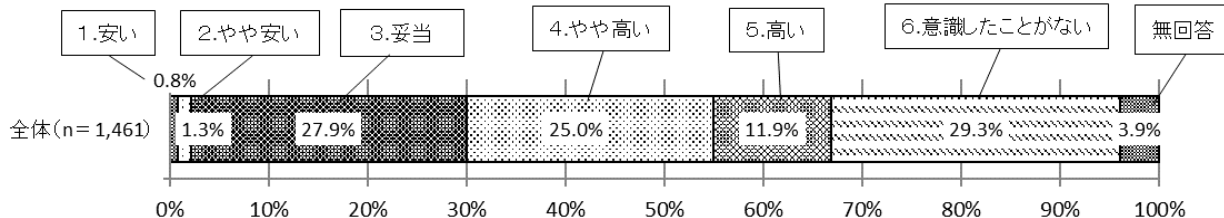


- 居住区別では、宮城野区、太白区で「下水道管やポンプ場など、施設を新たに整備する取組み」と回答した割合が大きい結果となりました。

問 6

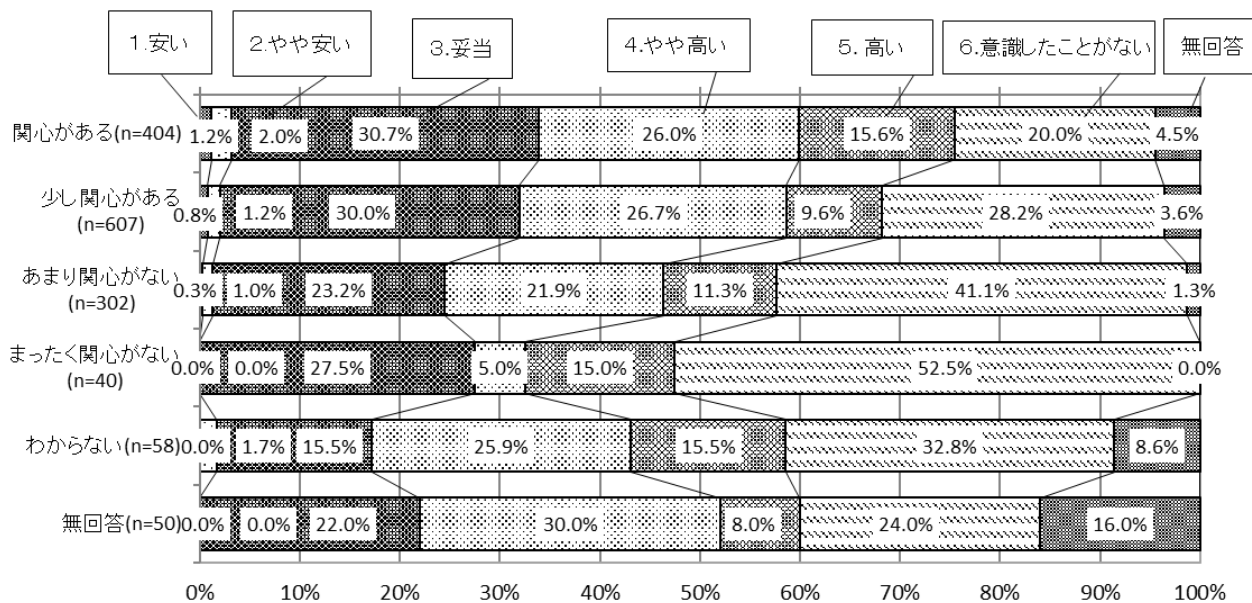
あなたのご家庭の下水道使用料について、あなたの考えにもっとも近いものを次のうちからお答えください。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|---------|--------------|
| 1. 安い | 4. やや高い |
| 2. やや安い | 5. 高い |
| 3. 妥当 | 6. 意識したことがない |



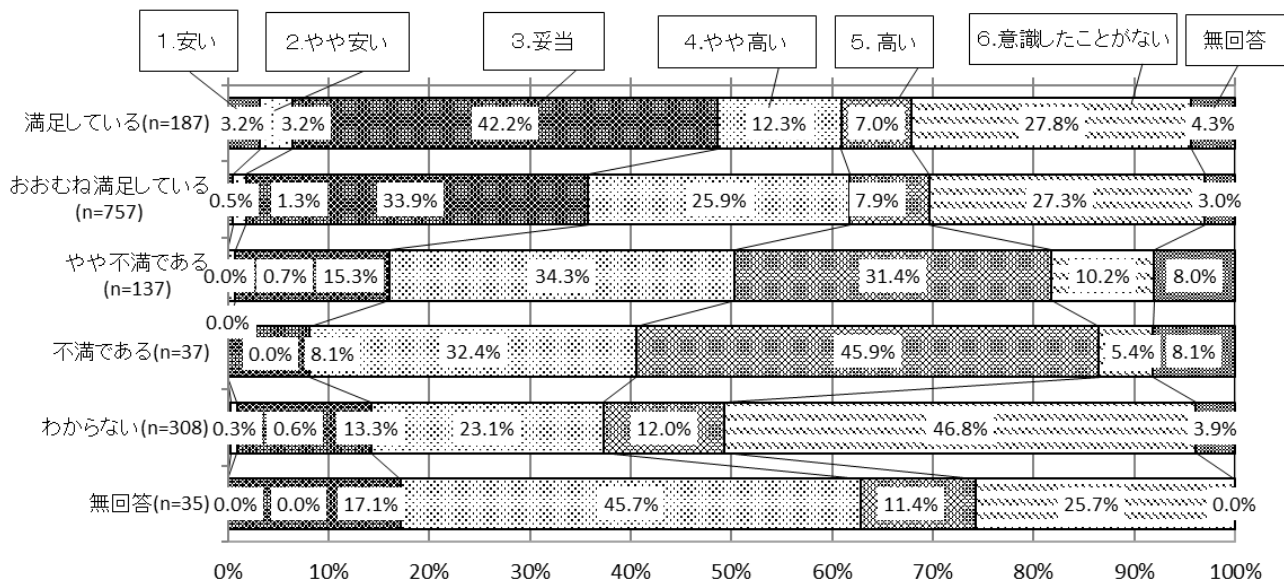
- 下水道使用料の支払い金額が「妥当」と回答した割合は27.9%となり、前回アンケートの51.4%から減少しました。
 - また、「意識したことがない」と回答した割合が29.3%となりました。
- ※注：前回アンケートでは「意識したことがない」という選択肢はありませんでした。

<問1 関心の度合い別での集計>



- 関心の度合い別では、関心の度合いが高くなるほど、ご家庭の下水道使用料の金額を「やや高い」「高い」と回答した割合が大きい傾向となりました。
- 関心の度合いが低いほど、「意識したことがない」と回答した割合が大きい傾向となりました。

<問 13 満足の度合い別での集計>



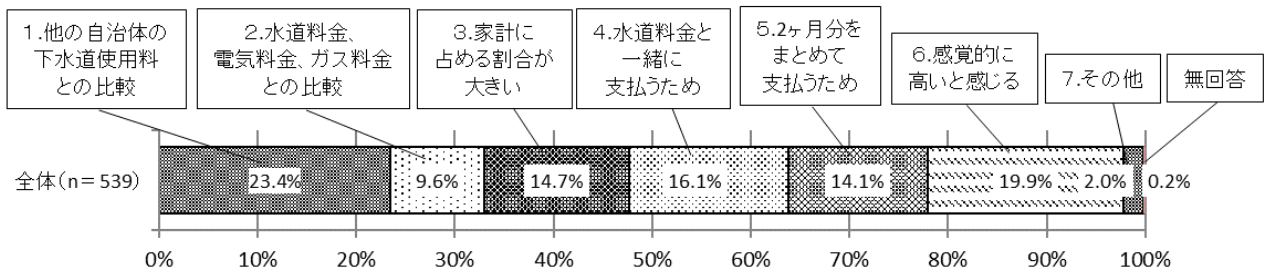
- 満足の度合い別では、満足の高さほど、「妥当」「意識したことがない」と回答している割合が高い一方で、不満の高さほど、「高い」と回答している割合が高い結果となりました。
- 満足かどうか「わからない」と回答した方の約半数は、下水道使用料を「意識したことがない」という結果となりました。

問6-2

(問6で)「やや高い」、「高い」を選択した方のみお答えください。

- 高いと思う理由について、あなたの考えにもっとも近いものを次のうちからお答えください。
(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 他の自治体の下水道使用料との比較 | 5. 2ヶ月分をまとめて支払うため |
| 2. 水道料金、電気料金、ガス料金との比較 | 6. 感覚的に高いと感じる |
| 3. 家計に占める割合が大きい | 7. その他 () |
| 4. 水道料金と一緒に支払うため | |

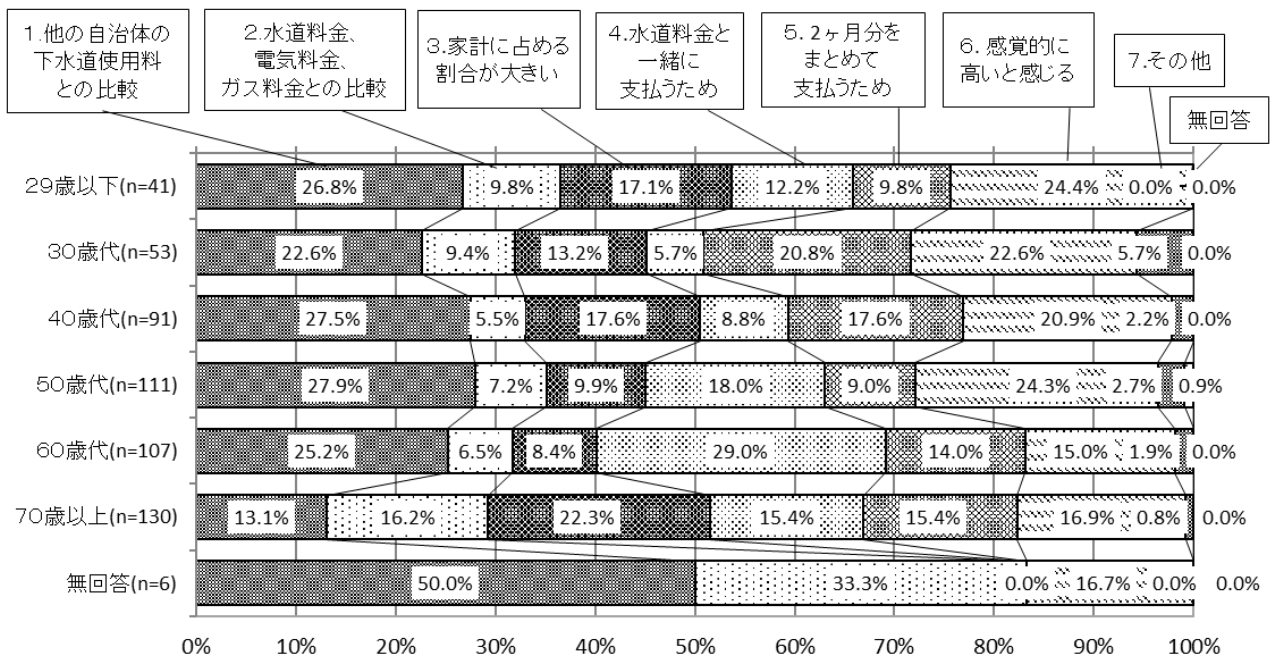


■「7. その他」を選択した方の具体的回答

- ・下水道使用料の使途が不明瞭
- ・水道料金の割合で料金が決まるため、下水専用の別メーターが必要だと思う など

➤ 「他の自治体の下水道使用料との比較」でやや高い、高いと感じている割合が高い結果となりました。

<年齢別での集計>



- 年齢別では、50～60歳代で、ご家庭の下水道使用料の金額が高いと思う理由を「水道料金と一緒に支払うため」と回答した割合が大きい結果となりました。
- 70歳以上は、「家計に占める割合が大きい」と回答した割合が大きい結果となりました。

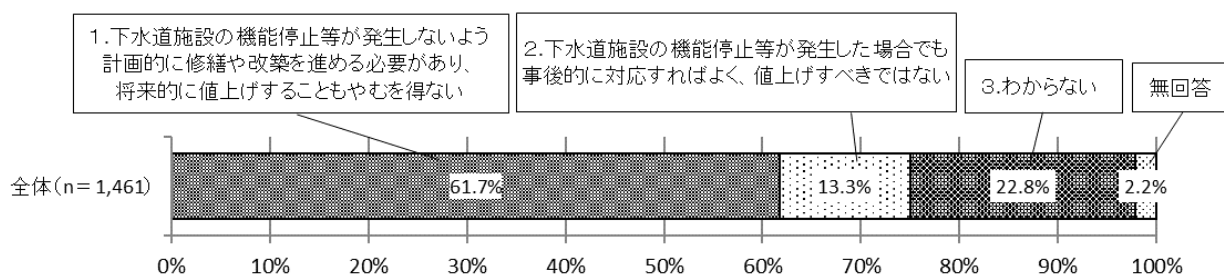
問7

仙台市の下水道施設は老朽化が進んでいる一方、人口減少等により下水道使用料収入は減少していくことが見込まれています。そうした状況に対応するため、施設の維持管理の効率化や廃止施設跡地の売却などによる収入確保に取り組んでいますが、今後、修繕や改築のための財源を確保することが困難となることが想定されます。

将来的な使用料のあり方について、あなたの考えにもっとも近いものを次のうちからお答えください。(あてはまる番号1つに○)

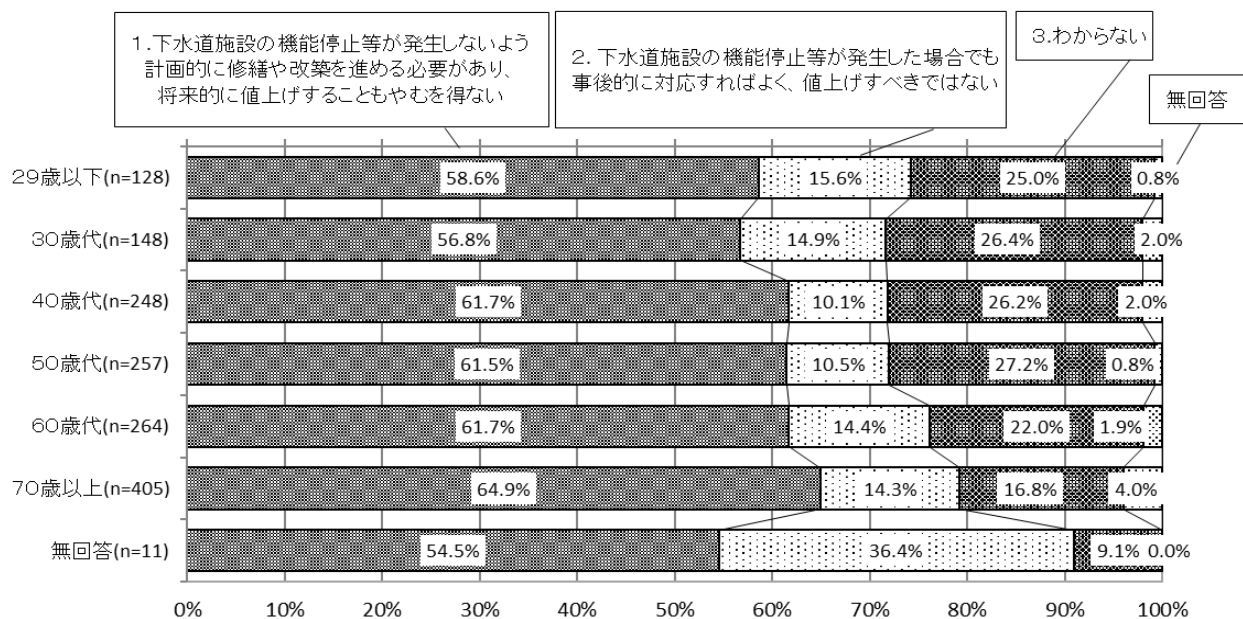
1. 下水道施設の機能停止等が発生しないよう計画的に修繕や改築を進める必要があり、将来的に値上げすることもやむを得ない
2. 下水道施設の機能停止等が発生した場合でも事後的に対応すればよく、値上げすべきではない
3. わからない

※下水道施設の機能停止等による影響…ポンプ場の機能停止等によるトイレの使用制限、老朽管の破損等による道路陥没など



- 将来的な下水道使用料のあり方について、「下水道施設の機能停止等が発生しないよう計画的に修繕や改築を進める必要があり、将来的に値上げすることもやむを得ない」と回答した割合が61.7%となり、半数を超える結果となりました。

<年齢別での集計>

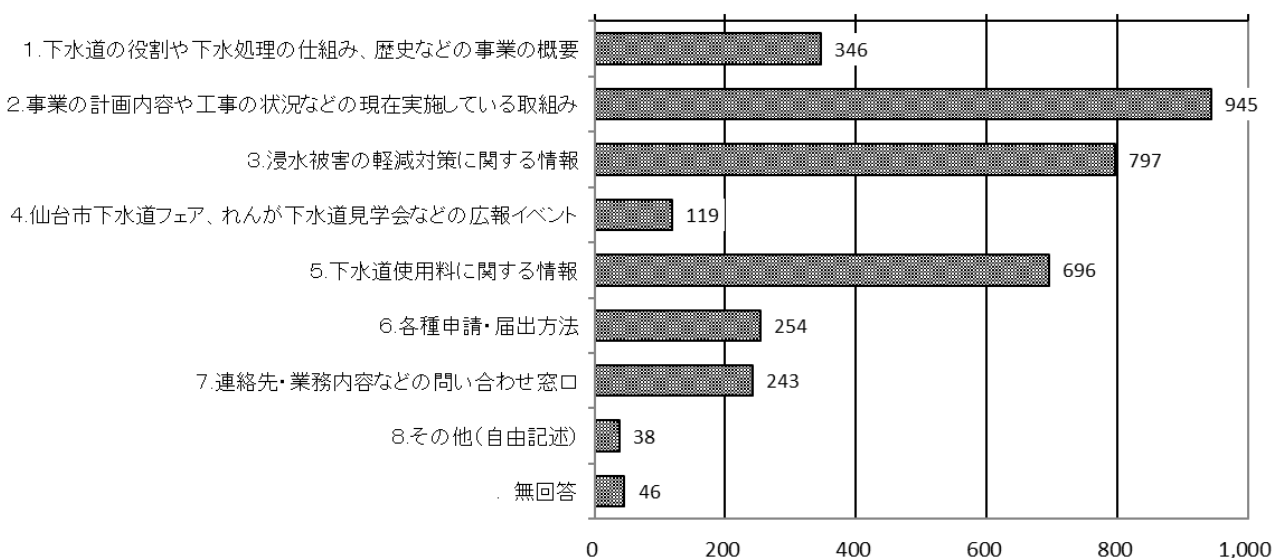


- 年齢別では、すべての年代で「計画的に修繕や改築を進める必要があり、将来的に値上げすることもやむを得ない」と回答した割合が高い結果となりました。

問 8

あなたは、仙台市の下水道について、どのような情報を知らせてほしいですか。(あてはまる番号3つまでに○)

1. 下水道の役割や下水処理の仕組み、歴史などの事業の概要
2. 事業の計画内容や工事の状況などの現在実施している取組み
3. 浸水被害の軽減対策に関する情報
4. 仙台市下水道フェア、れんが下水道見学会などの広報イベント
5. 下水道使用料に関する情報
6. 各種申請・届出方法
7. 連絡先や業務内容などの問い合わせ窓口
8. その他 ()

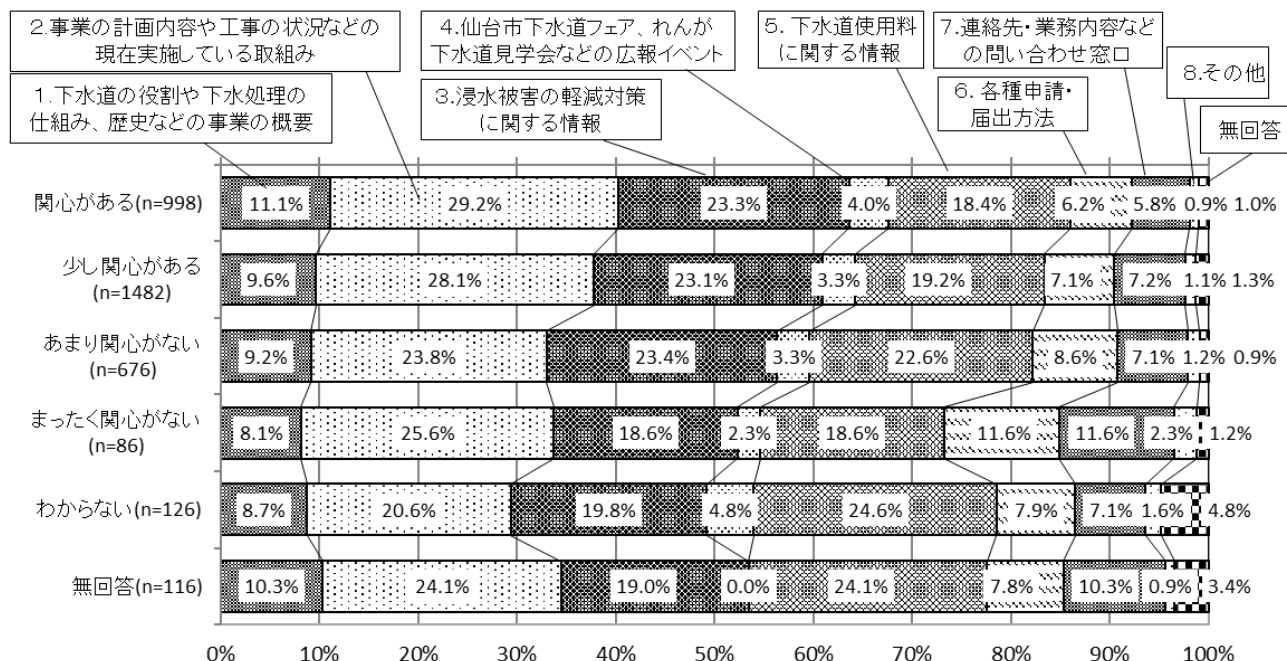


■ 「8. その他」を選択した方の具体的回答

- ・ 小学校、中学校などの教育現場でのイベント企画
- ・ 下水道サービスの運営に係る予算と使用料の内訳、詳細な財源・経営状況の報告
- ・ 施設の老朽化の現状や修繕・更新計画、その対策に係る経費 など

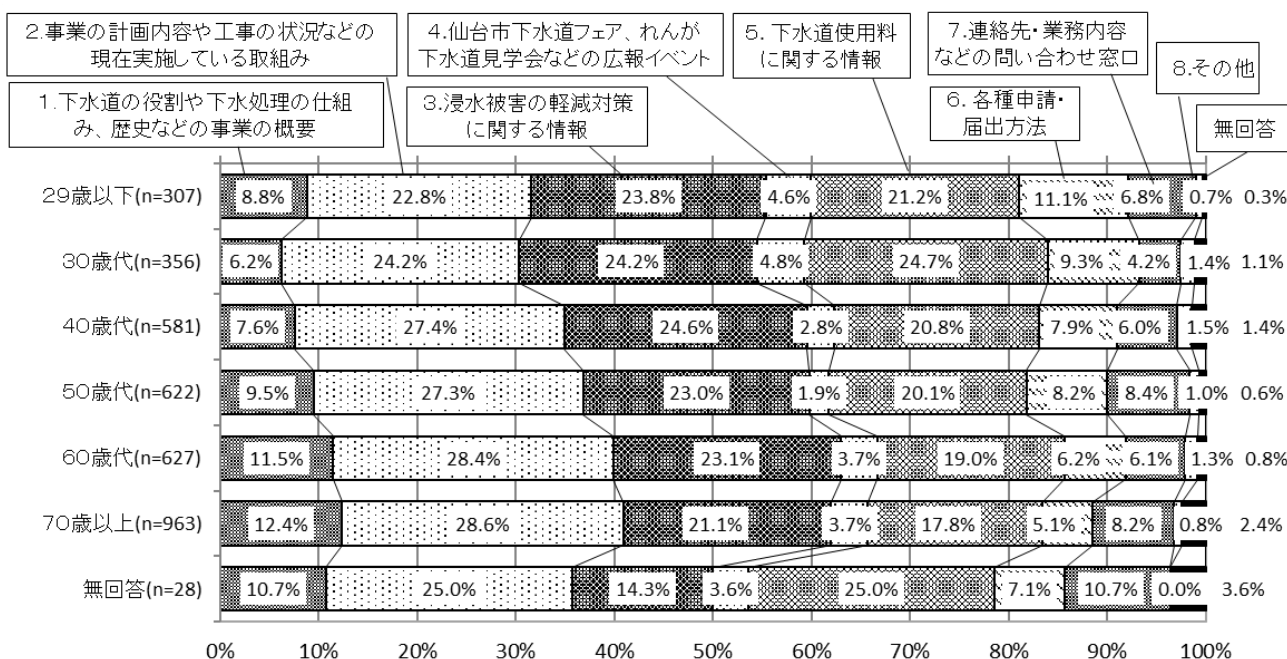
➤ 「事業の計画内容や工事の状況などの現在実施している取組み」に最も多くの回答が寄せられ、「浸水被害の軽減対策に関する情報」「下水道使用料に関する情報」が次ぐ結果となりました。

<問1 関心の度合い別での集計>



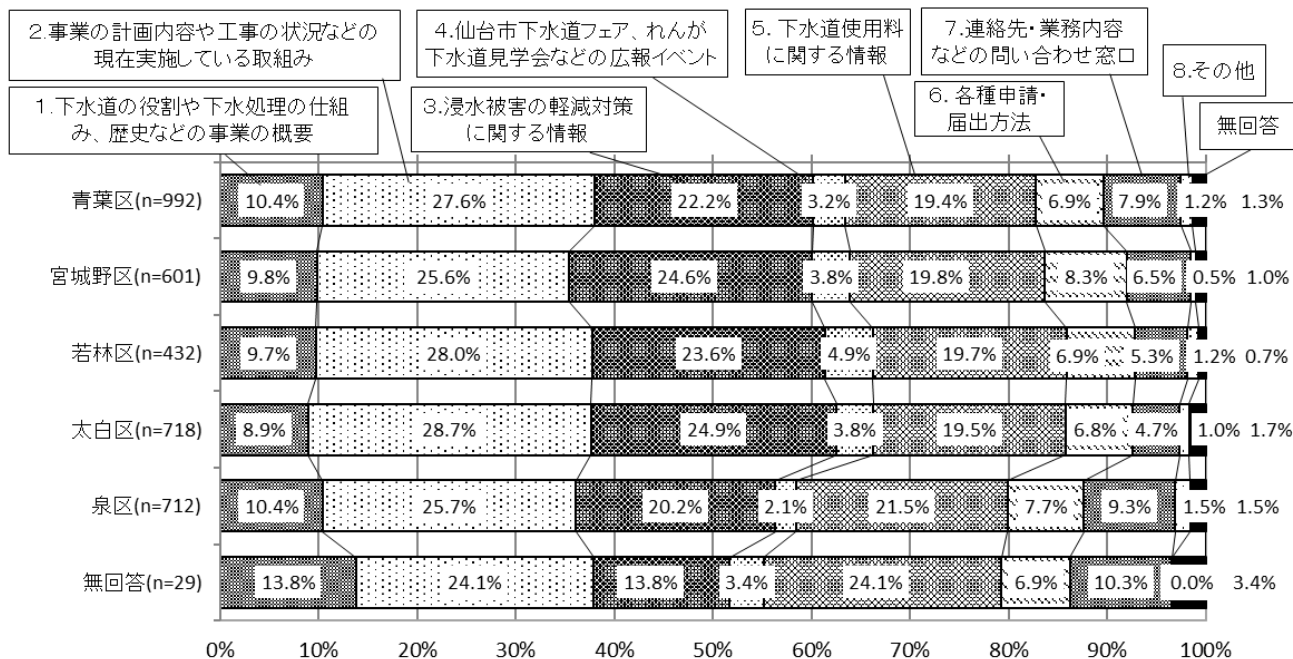
- 関心の度合い別では、関心の度合いが高くなるほど、「下水道の役割や下水処理の仕組み、歴史などの事業の概要」と回答した割合が大きい傾向となりました。
- 関心の度合いが低くなるほど、「各種申請・届出方法」を回答した割合が大きい傾向となりました。

<年齢別での集計>



- 年齢別では、年代が高くなるほど、「事業の計画内容や工事の状況などの現在実施している取組み」と回答した割合が高い傾向となりました。
- 29歳以下、30歳代で、「仙台市下水道フェアなどの広報イベント」「各種申請・届出方法」と回答した割合が、他の年代に比べて高い結果となりました。

<居住区別での集計>

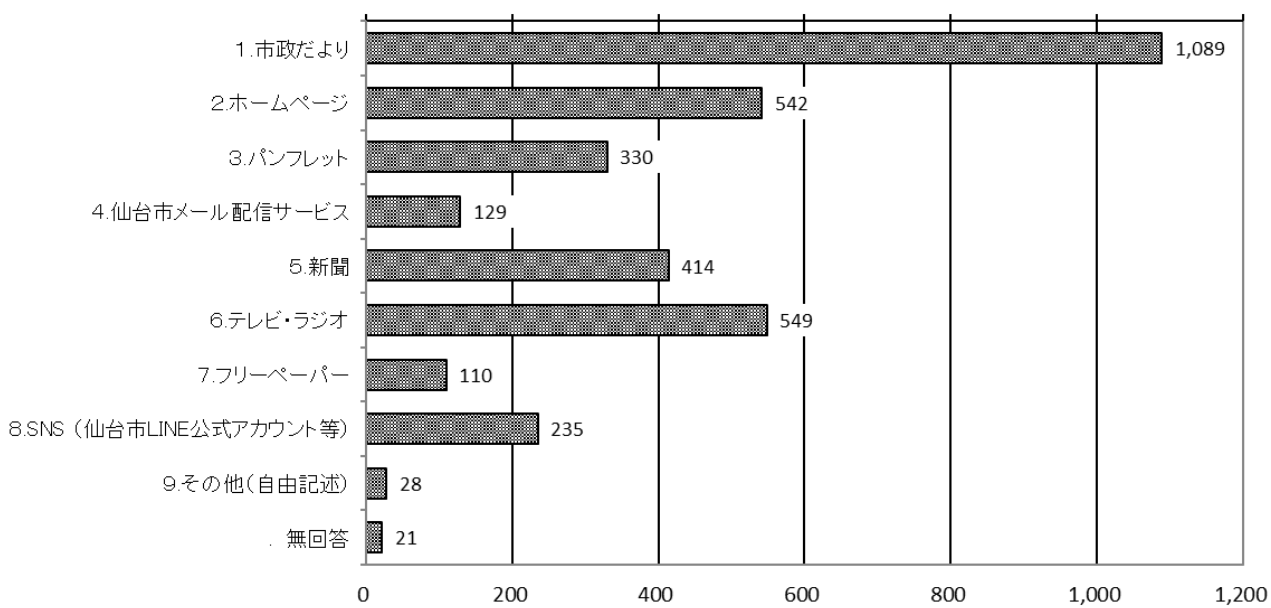


➤ 居住区別では、宮城野区、若林区、太白区で「浸水対策の軽減対策に関する情報」と回答した割合が大きい結果となりました。

問 9

あなたは、仙台市の下水道に関する情報について、どのような方法で知らせてほしいですか。
 (あてはまる番号3つまでに○)

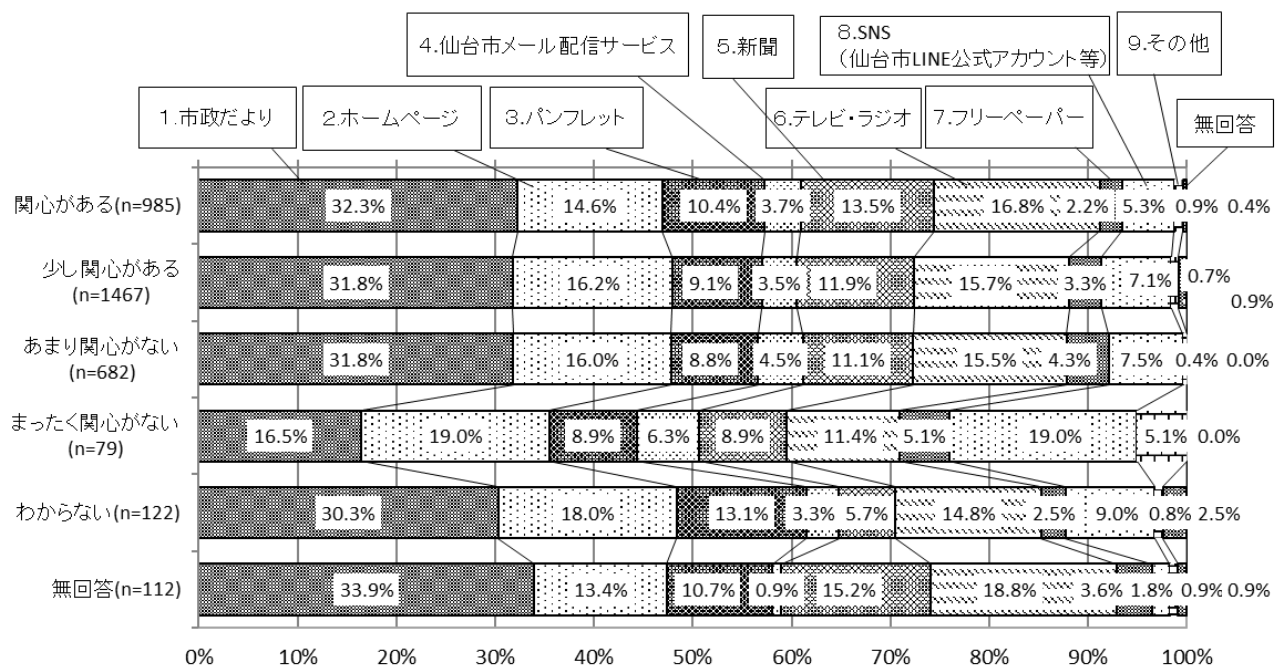
- | | |
|-----------------------------------------------|-----------------------------|
| 1. 市政だより | 5. 新聞 |
| 2. ホームページ | 6. テレビ・ラジオ |
| 3. パンフレット | 7. フリーペーパー |
| 4. 仙台市メール配信サービス (登録された方に必要な情報を電子メールで配信するサービス) | 8. SNS (仙台市 LINE 公式アカウントなど) |
| | 9. その他 () |



- 「9. その他」を選択した方の具体的回答
 - ・ 町内会の回覧や検針票と一緒にチラシ等を配布
 - ・ YouTube など動画サイトでの広報 など

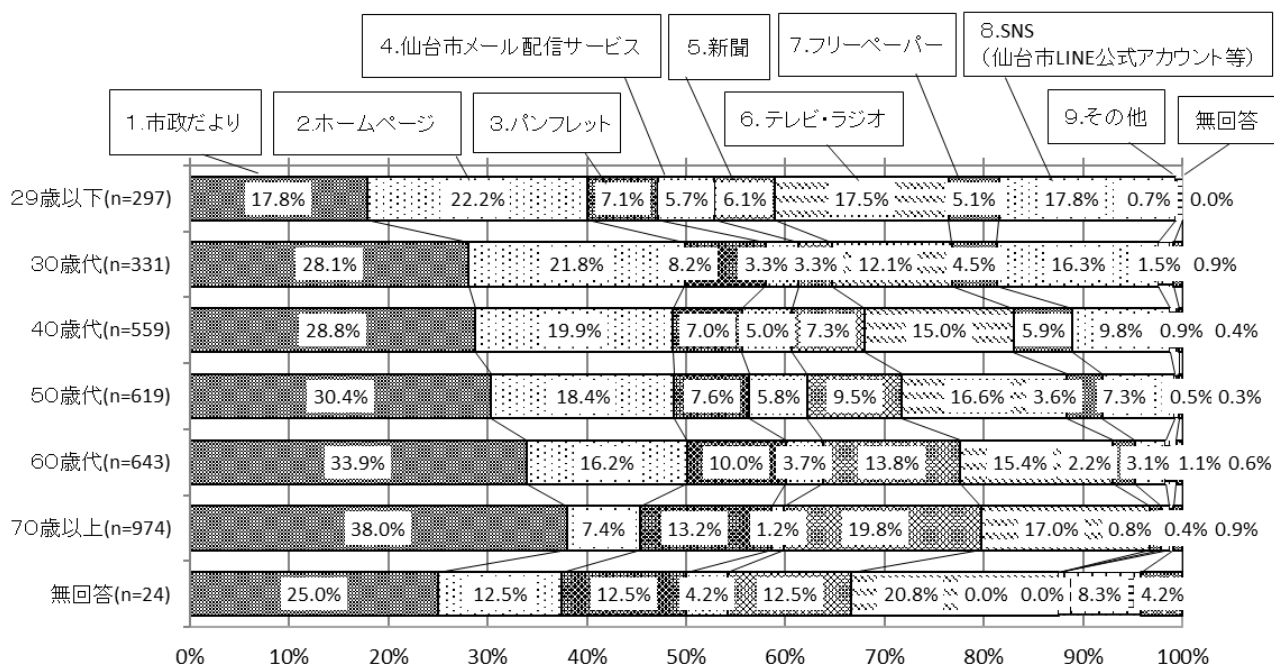
➤ 「市政だより」に最も多くの回答が寄せられ、次いで「テレビ・ラジオ」「ホームページ」に多くの回答が寄せられました。

<問1 関心の度合い別での集計>



- 関心の度合い別では、関心の度合いが高くなるほど、「市政だより」「新聞」「テレビ・ラジオ」と回答した割合が大きい傾向となりました。
- まったく関心がないと回答した方は、「ホームページ」「SNS」と回答した割合が高い結果となりました。

<年齢別での集計>

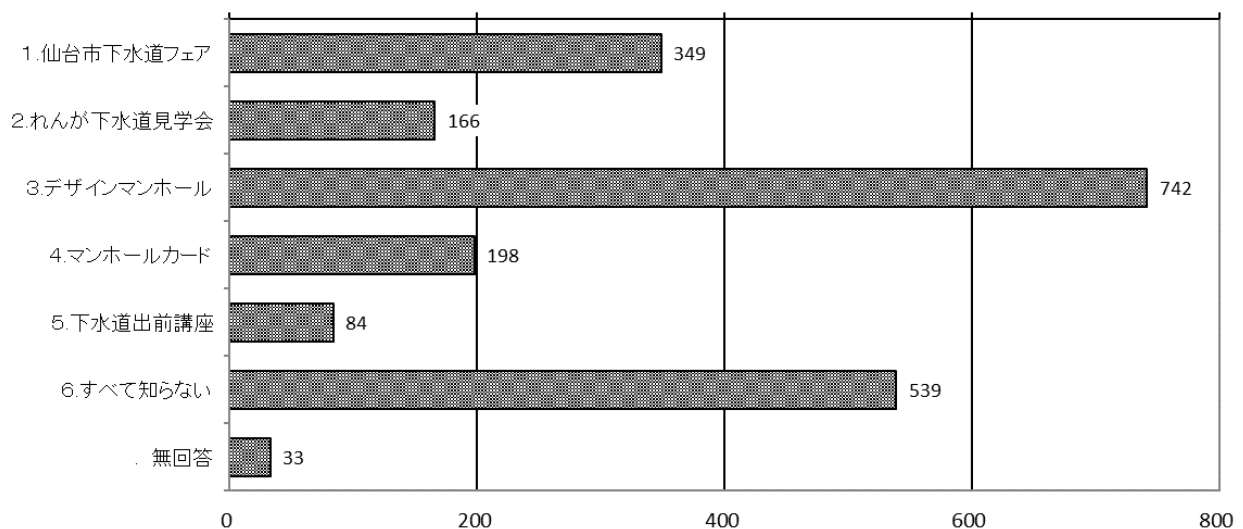


- 年齢別では、年代が高いほど、「市政だより」「新聞」と回答した割合が大きい傾向となりました。
- 年代が低いほど、「ホームページ」「SNS」と回答する割合が大きい結果となりました。

問 10

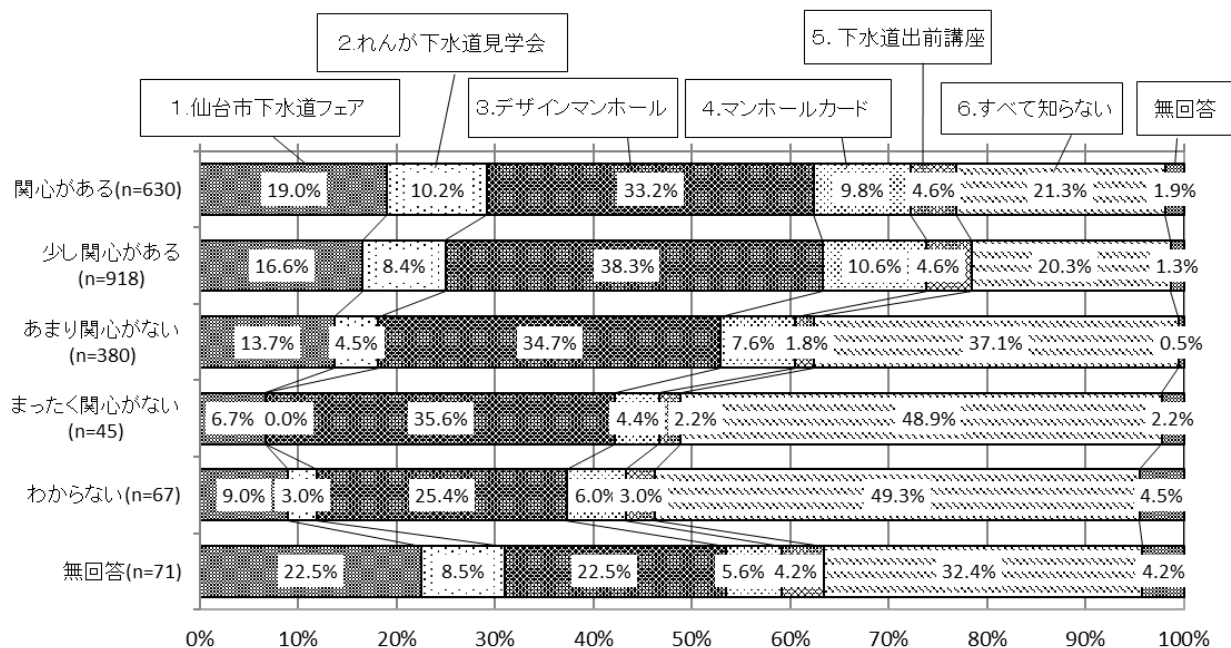
仙台市では、下水道をPRする活動として、主に下の表の取組みを行っています。あなたは、これらの取組みをご存知でしたか。(あてはまる番号すべてに○)

番号	主な取組み	取組内容
1	仙台市下水道フェア	ゲームや実験などを通して下水道について知ることができるイベント。(令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症の流行拡大により中止)、下水道フェア川柳コンクールの開催など
2	れんが下水道見学会	明治時代から使われているれんが造りの下水道管の見学会、仙台市公式動画チャンネル「せんだいTube」による紹介動画の公開
3	デザインマンホール	仙台の特色をデザインしたマンホールの設置 (東北楽天ゴールデンイーグルス、八木山動物公園周辺、ベガルタ仙台、映画「ゴールデンスランバー」など)
4	マンホールカード	仙台市独自のマンホール蓋をデザインしたカードの配布 (せんだいメディアテーク1階受付で配布しています。)
5	下水道出前講座	仙台市内の小学校4年生を対象に、下水道の役割や正しい使い方などを説明する講座
6	すべて知らない	—



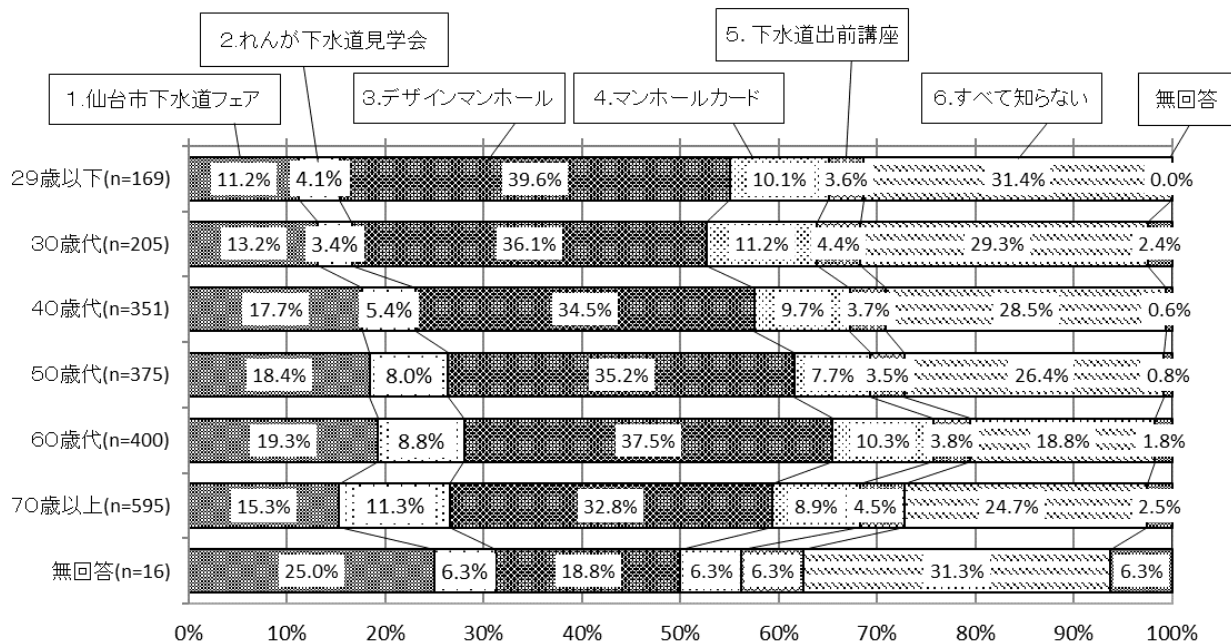
➤ 「デザインマンホール」が多くの方に認知されている一方で、「すべて知らない」という回答も多く寄せられました。

<問1 関心の度合い別での集計>



- 関心の度合い別では、関心の度合いが高いほど、「仙台市下水道フェア」「れんが下水道見学会」と回答した割合が高い傾向となりました。
- 「デザインマンホール」と回答した割合は、関心の度合いによる差はあまりないという結果となりました。

<年齢別での集計>



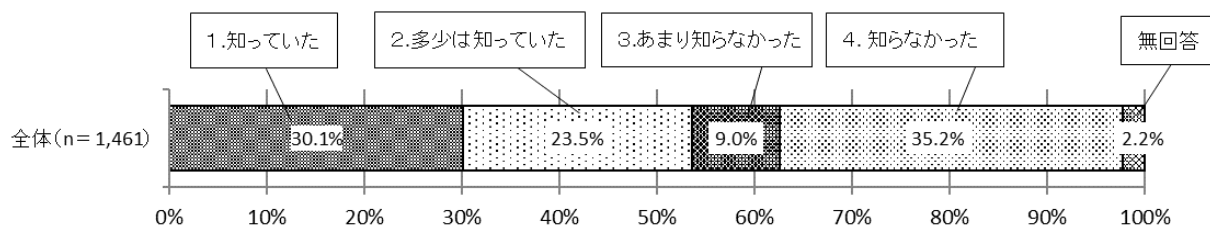
- 年齢別では、年代が高くなるほど、「仙台市下水道フェア」「れんが下水道見学会」と回答した割合が大きい傾向となりました。

問 11

仙台市では、東北大学等と感染症研究を進めており、下水中のウイルス検出結果から新型コロナウイルス感染陽性者数を予測する公開検証実験を実施しています。向こう1週間の新規感染陽性者数の週間予測値を、「下水ウイルス情報発信サイト」を利用し、メールアドレス登録者に週に1度メールでお知らせしています。

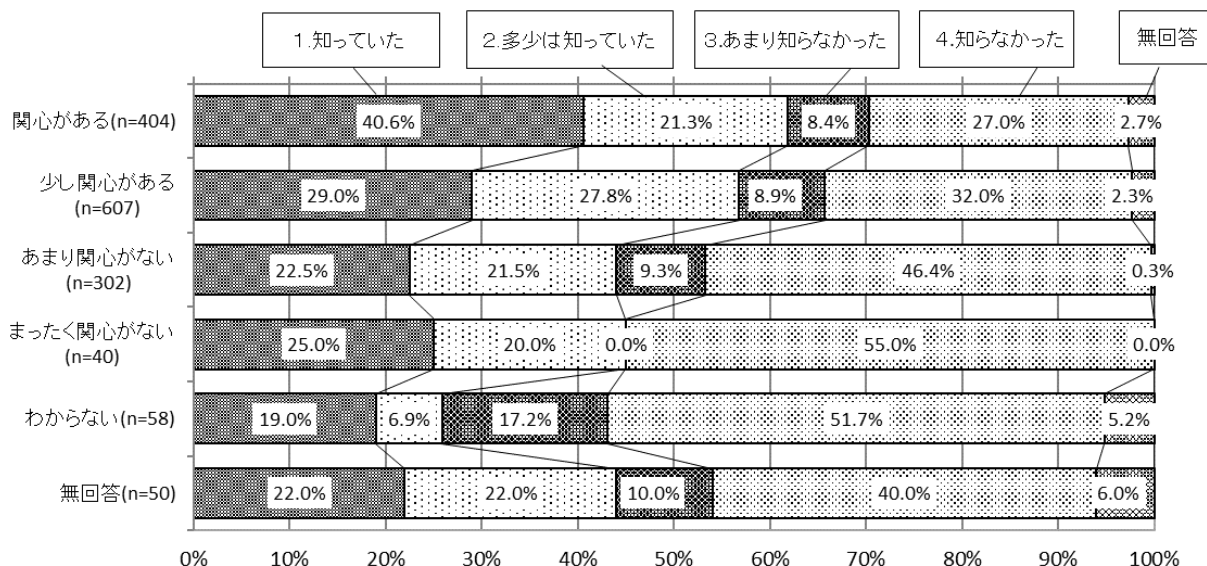
あなたはこの取組みについて、ご存知でしたか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 知っていた | 3. あまり知らなかった |
| 2. 多少は知っていた | 4. 知らなかった |



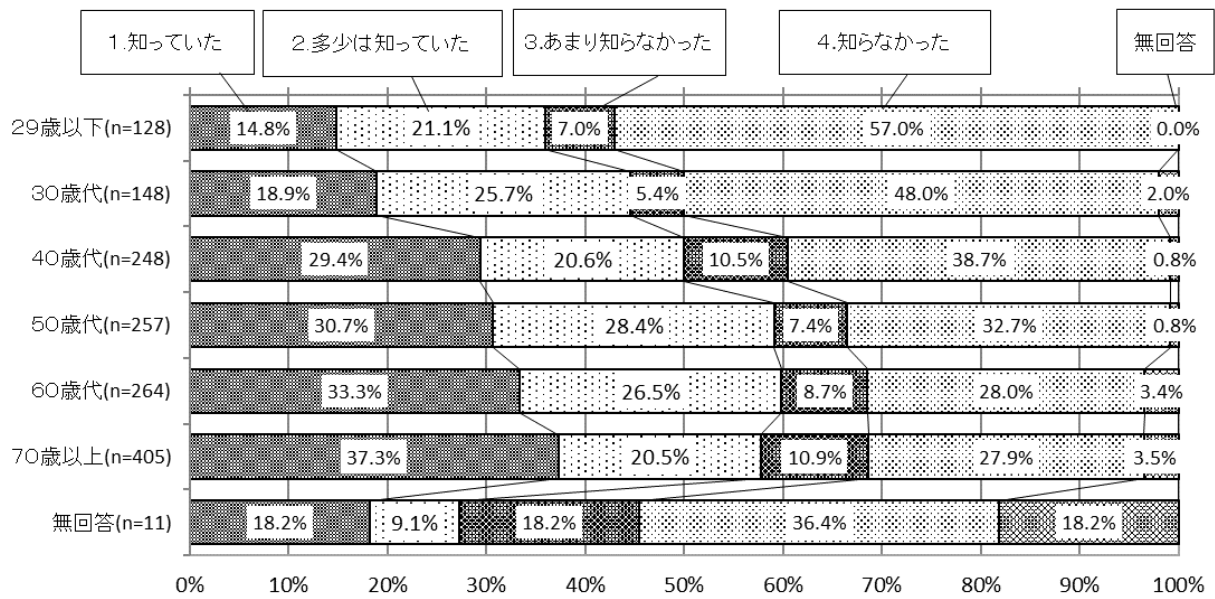
➤ 「知っていた」「多少は知っていた」と回答した割合が53.6%となり、半数を超える結果となりました。

<問 1 関心の度合い別での集計>



➤ 関心の度合い別では、関心が高いほど「知っていた」「多少は知っていた」と回答した割合が高い傾向となりました。

<年齢別での集計>

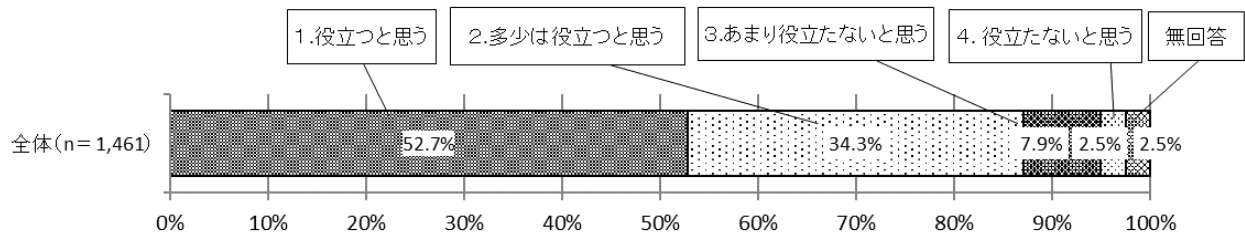


➤ 年齢別では、年代が高くなるほど、「知っていた」と回答した割合が高い傾向となりました。

問 12

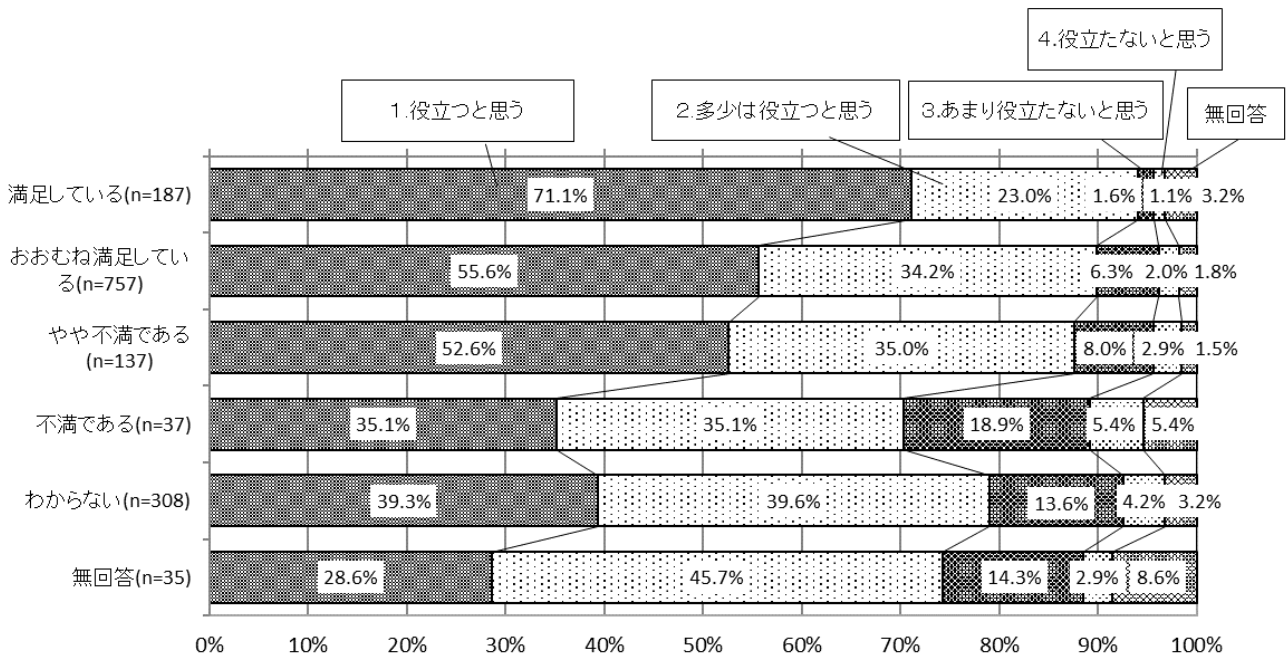
問 11 の取組みは、新型コロナウイルス感染症の流行把握や日々の生活における感染対策などに役立つと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 役立つと思う | 3. あまり役立たないと思う |
| 2. 多少は役立つと思う | 4. 役立たないと思う |



- 「役立つと思う」「多少は役立つと思う」と回答した割合が 87.0% となり、8 割を超える結果となりました。

<問 13 満足の度合い別での集計>

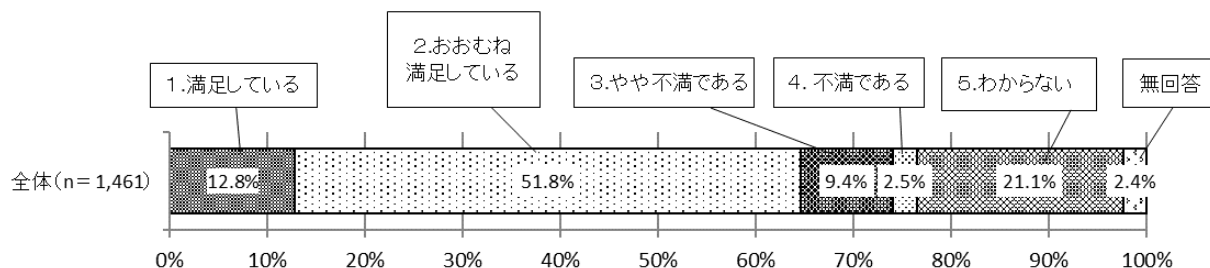


- 満足度の度合い別では、満足度の度合いが高いほど、「役立つと思う」と回答した割合が大きい結果となりました。

問 13

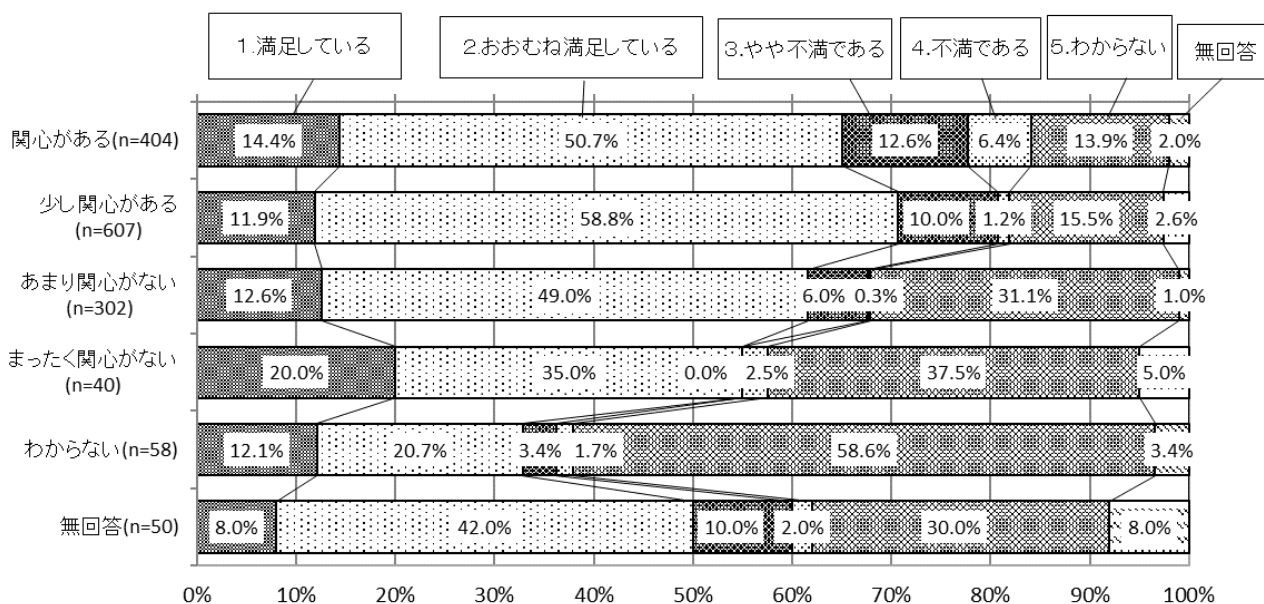
あなたは、仙台市の下水道全般について満足していますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 満足している | 3. やや不満である |
| 2. おおむね満足している | 4. 不満である |
| | 5. わからない |



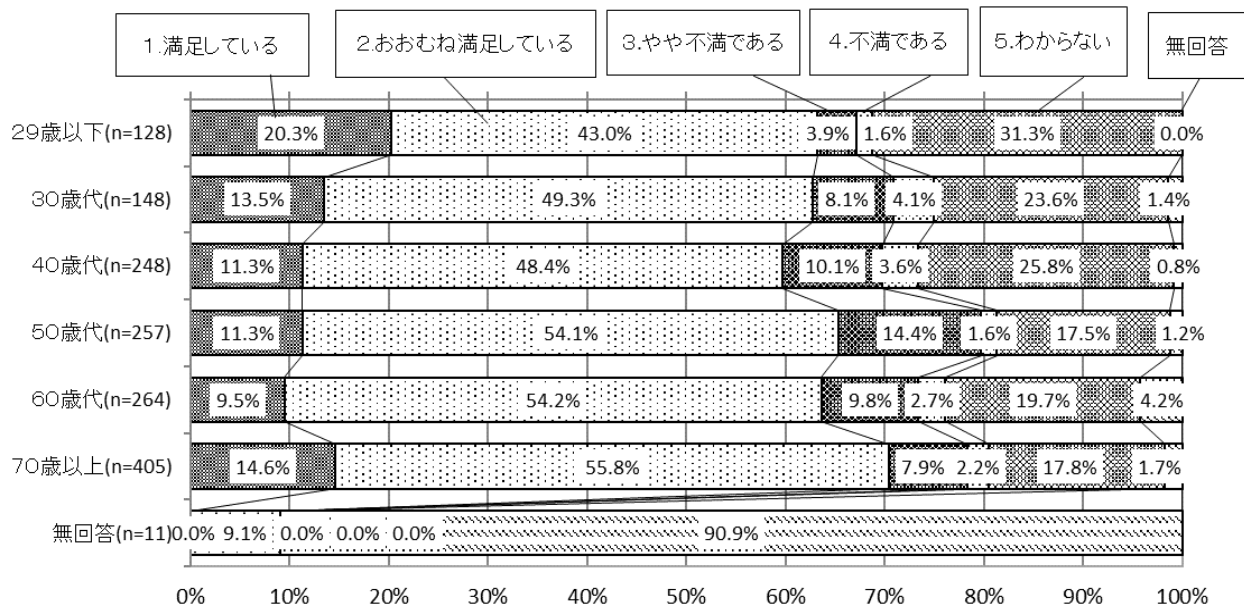
- 「満足している」「おおむね満足している」と回答した割合が64.6%となり、6割を超える方に満足いただいている結果となりました。
- 「満足している」「おおむね満足している」と回答した割合は、前回アンケートの66.8%から若干減少しました。

<問 1 関心の度合い別での集計>



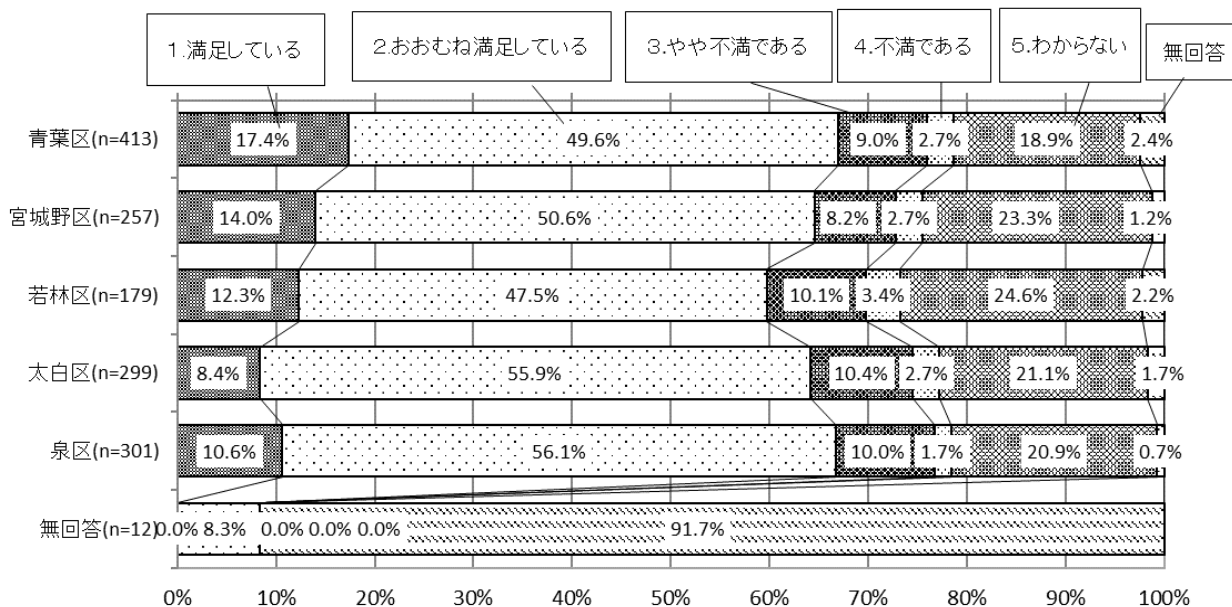
- 関心の度合い別では、関心の度合いが高くなるほど、「やや不満である」「不満である」と回答した割合が大きい結果となりました。
- 関心の度合いが低くなるほど、「わからない」と回答した割合が大きい結果となりました。

<年齢別での集計>



- 年齢別では、29歳以下、70歳以上で、「満足している」と回答した割合が大きい一方、30～60歳代で、「やや不満である」「不満である」と回答した割合が大きい結果となりました。
- 40歳代以下で、「わからない」と回答した割合が大きい結果となりました。

<居住区別での集計>



- 居住区別では、青葉区、泉区で「満足している」「おおむね満足している」と回答した割合が大きい結果となりました。
- 若林区、太白区で「やや不満である」「不満である」と回答した割合が大きい結果となりました。

- そのように感じている理由をご自由にお書きください。

主なご意見など（抜粋）

●下水道の老朽化に関すること

- ・今後進むであろう下水道施設の老朽化に備えて、計画的に事業を進めてほしい。
- ・具体的にどの程度老朽化が進んでいるのか、改築工事が必要なのかなどの情報を知る方法が分からないので、もっとPRしてほしい。

●地震・津波対策に関すること

- ・地震が頻発している地域なので、下水道施設の老朽化対策や地震対策は必要だと思う。
- ・東日本大震災発災時の対応・復旧も迅速だった。これからも早め早めの対策を取って、何時も安心して使用できる下水道であってほしい。

●浸水対策に関すること

- ・近年大雨が増加しているため、浸水被害を軽減する取組みを重点的に実施してほしい。
- ・大雨時に浸水する地域に住んでおり、ポンプ場整備について要望をしているが、改善に向けて動いているのか情報がなく、大雨のたびに不安を感じている。
- ・側溝清掃がされておらず、落ち葉等が堆積し、大雨時に道路冠水が発生している。
- ・浸水被害軽減のための支援策はとてもいいと思うので、具体的な利用方法等を知りたい。
- ・浸水対策は重要であるが、下水が流れ込む川の氾濫対策と連動しているのか不明であり、不安に感じることがある。

●環境保全に関すること

- ・汚水が適切に処理されることで、衛生的な環境を守ることができている。
- ・水環境保全に取り組むとともに、地球温暖化防止等にも力を入れてほしい。

●広報・広聴に関すること

- ・もっと市民全員の目に触れるような広報活動があるとよい。
- ・下水道の役割やサービスについて、もっと市民にわかりやすい情報発信をするべきだ。

●下水道使用料に関すること

- ・下水道使用料の使い道など、積極的に情報を公開してほしい。
- ・インフラ整備の充実は、未来へ繋げる大切なものだと考えるので、料金の高さは仕方がない。

●その他

- ・今後の人口減少社会に対応できるよう、施設の長寿命化、効率的な運用によるコストダウンで現状のサービスレベルを保ってほしい。
- ・災害の激甚化や施設の老朽化が進み、既存の枠組みでは対応しきれないのは理解している。資金も潤沢ではなく、取捨選択が必要だと思うが、そこも含めてもっと情報開示してほしい。
- ・新型コロナウイルス感染症に対する研究について、大変興味深く見ている。
- ・普段の生活で下水道を意識することはあまりないが、それは常に下水道の機能が支障なく維持されていることの裏返しだと考える。

令和4年度
仙台市下水道サービスに対する市民満足度調査
報告書

令和4年12月
仙台市建設局下水道経営部経営企画課
〒980-8671
仙台市青葉区国分町三丁目7番1号
TEL 022-214-8509